

学 校 要 覧

令 和 8 年 度



一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校
～すべては子供たちのために～

東京都立羽村特別支援学校

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神319番地の1

電 話 042(554)0829

ファクシミリ 042(555)3853

ホームページ <https://hamura-sh.metro.ed.jp/site/zen/>

メールアドレス S1000252@section.metro.tokyo.jp

東京都立羽村特別支援学校校歌

作詞：宮中雲子
作曲：西澤健治

♩=80
mp

1. は む ら を 二 かが つ や む く や ま お や ま に 二 い つ め

も や さ し く み ま く も ら れ 二 す の び て い こ う た ど こ ま で く ま つ た

の か な み こ じ ろ を ふ か く よ か わ ぜ て 二 き ゐ ん な

の あ し う た ょ う し そ ん た じ て よ う

ぎ ょ う ー の い っ ぽ が ー ひ か り を ま ね く た し

かな ー い っ ぽ が み ら い に つ づ く ー 2. あ か く た し

かな ー い っ ぽ が み ら い に つ づ く ー

羽村を包む山々に
いつもやさしく見守られ
伸びていこうたくましく
松の緑を吹く風に
希望のあしたを信じよう
きょうのあしたを光を招く
確かな一歩が未来に続く

明るく輝く青空に
夢を大きくふくらませ
進んでいこうどこまでも
豊かな心をかよわせて
みんなの友情育てよう
きょうの一歩が光を招く
確かな一歩が未来に続く

東京都立羽村特別支援学校
校歌

作詞 宮中雲子
作曲 西澤健治

平成二十一年四月一日 制定

目 次

I 沿革	1
II 児童・生徒・教職員概況	
1 学部・学年別 学級数と児童・生徒数	3
2 居住地別児童・生徒数	3
3 教職員の構成	3
4 最近10年間の卒業生の進路状況	4
5 最近10年間の在籍者数の推移	4
6 通学区域とスクールバスコース	4
III 令和7年度 学校経営報告	5
IV 令和8年度 学校経営計画	9
V 教育課程	
1 教育目標	13
2 学部目標	13
3 年間授業時数配当（計画時数）	15
4 主な学習内容	16
5 週時程	18
6 年間行事予定	22
VI 学校運営	
1 管理運営規程	26
2 予算概要	31
VII 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告	32
VIII 学校防災計画と危機管理	
1 危機管理組織	47
2 防災組織	47
3 非常災害時の対応	48
4 日常防災の取組について	48
5 児童・生徒の健康に関する緊急対応体制	49
6 児童・生徒の健康に関する平常時の体制	51
7 緊急連絡先（関係機関連絡先）	52
IX 学校開放事業等	
1 学校見学会・学校公開	53
2 都立学校公開講座	53

裏表紙内側：校舎配置図

裏表紙外側：JR 羽村駅からの案内図

校章について



校章の意味は、親と子、子供同士、教師と児童・生徒とが手をとりあい、たがいに助けあい、はげましあっている姿を図案化したものである。色については、校庭にあるたくさんの松の緑を下地に取り入れ、スクールカラーとした。（図案作成…堀 敬）

校章制定委員会

昭和55年2月20日制定

I 沿革

本校は、昭和48年度、東京都における心身障害児希望者全員就学の方針に基づき新設された、知的障害特別支援学校である。

昭和48年度	48 . 12 . 7	東京都立立川養護学校羽村分校設置(知的障害対象)
	48 . 12 . 18	東京都公立学校長 荒井喜夫 就任
		東京都立羽村養護学校開設準備担当を命ぜられる
昭和49年度	49 . 4 . 1	東京都立羽村養護学校設置(東京都条例第28号)
	49 . 4 . 1	東京都西多摩郡羽村東小学校にて開設
		小学部 2学級 20名
	49 . 4 . 16	開校式ならびに入学式
昭和50年度	50 . 4 . 11	建築(校舎等)仮引き継ぎを受ける
	50 . 7 . 9	フール、体育館および第2期工事、新校舎使用開始
	51 . 3 . 18	小学部第2回、中学部第1回卒業式ならびに第1回学芸会
昭和51年度	51 . 4 . 11	第3期工事新校舎(延964,113㎡)仮引き継ぎを受ける
	51 . 5 . 27	校舎落成記念式挙行
昭和52年度	53 . 3 . 18	小学部第4回、中学部第3回、高等部第1回卒業式
昭和53年度	53 . 4 . 1	第2代校長 大庭 伊兵衛 就任
	54 . 3 . 17	新設運動場完成
昭和54年度	55 . 2 . 20	校章制定
昭和55年度	55 . 5 . 28	校歌制定
昭和56年度	57 . 3 . 27	校旗制定
昭和57年度	58 . 3 . 7	体育館倉庫工事完成引継ぎを受ける
	58 . 3 . 31	第2代校長 大庭 伊兵衛 勇退
昭和58年度	58 . 4 . 1	第3代校長 金沢 四郎 就任
	58 . 11 . 19・20	創立10周年記念式典・文化祭
昭和61年度	61 . 4 . 1	第4代校長 小久保 良種 就任
昭和62年度	63 . 3 . 19	フレハブ普通教室工事完了引継ぎを受ける(6教室)
昭和63年度	63 . 11 . 19・20	創立15周年記念文化祭
平成 2年度	2 . 3 . 31	第4代校長 小久保 良種 勇退
平成 2年度	2 . 4 . 1	第5代校長 池田 旭 就任
平成 3年度	3 . 4 . 1	東京都心身障害児童理解推進室設置 教育相談員2名配置
平成 4年度	5 . 3 . 31	第5代校長 池田 旭 勇退
平成 5年度	5 . 4 . 1	第6代校長 常友 旭 就任
平成 6年度	6 . 11 . 19・20	創立20周年記念式典・文化祭・創立20周年記念誌発行
	7 . 3 . 31	第6代校長 常友 旭 勇退
平成 7年度	7 . 4 . 1	第7代校長 加納 竹文 就任
平成 8年度	8 . 6 . 16	第8代校長 坂田 紀行 就任
平成12年度	12 . 4 . 1	第9代校長 岩井 雄一 就任
平成13年度	13 . 6 . 21	学校運営連絡協議会設置
平成16年度	16 . 12 . 3	創立30周年記念式典・創立30周年記念誌発行
平成17年度	17 . 4 . 1	第10代校長 上野 哲司 就任
平成18年度	19 . 3 . 26	普通教室棟増築(8教室)
平成19年度	20 . 3 . 31	第10代校長 上野 哲司 勇退
平成20年度	20 . 4 . 1	東京都立羽村特別支援学校に校名変更
	20 . 4 . 1	第11代校長 山口 真佐子 就任
	20 . 10 . 17	「都立羽村特別支援学校(平成20年)増築及び大規模改修等工事」基本設計委員会設置
	21 . 3 . 23	「都立羽村特別支援学校(平成20年)増築及び大規模改修等工事」基本設計書納付
平成21年度	21 . 4 . 1	新校歌制定
	22 . 3 . 19	「都立羽村特別支援学校(平成21年)増築及び大規模改修等工事」実施設計書納付
平成22年度	22 . 10 . 1	増築及び大規模改修等工事」着工
	22 . 4 . 1	東京都自閉症教育推進事業の研究指定校
	22 . 9 . 11	東京都教育委員会表彰「環境教育優良校」
	22 . 10 . 28	第49回全日本学校歯科保健優良校表彰 日本歯科医師会会長賞
	22 . 11 . 6	東京都教育委員会表彰「健康づくり優秀学校」(学校保健・学校安全分野)
	23 . 2 . 10	東京都学校歯科保健優良校表彰
平成23年度	23 . 4 . 1	自閉症教育の推進事業指定校
	23 . 4 . 1	職業教育の充実事業指定校
	23 . 4 . 1	特別支援学級と特別支援学校の連携による専門性向上プロジェクト指定校
	23 . 4 . 1	OJT推進モデル指定校
	23 . 9 . 21	文部科学大臣表彰 学校保健及び学校安全表彰校

平成24年度	21	4	1	自閉症教育の推進事業指定校
	24	4	1	職業教育の充実事業指定校
	24	4	1	特別支援学級と特別支援学校の連携による専門性向上プロジェクト指定校
	24	4	1	新校舎(教室棟・管理棟・特別教室棟・体育館・フール)へ移転
	24	4	1	安全教育推進指定校
	25	3	29	新グラウンド完成
平成25年度	25	3	31	第11代校長 山口 真佐子 勇退
	25	4	1	第12代校長 杉本 久吉 就任
	25	4	1	自閉症教育の推進事業指定校
	25	4	1	職業教育の充実事業指定校
	25	4	1	OJT推進モデル推進指定校
	25	4	1	都立知的障害特別支援学校教育支援員導入
平成26年度	26	1	6	体育倉庫・屋外便所棟、農園農倉庫、芝生、畑・果樹園完成
	26	1	22	開校40周年記念式典・校舎落成記念式典
	26	9	1	芝生エリア使用開始
平成27年度	27	4	1	スクールバス(武蔵村山コース)増車
	28	3	31	第12代校長 杉本 久吉 勇退
平成28年度	28	4	1	第13代校長 坂口 昇平 就任
	28	4	1	スクールバス(瑞穂コース)増車
平成29年度	29	4	1	社会貢献活動モデル事業実施校
	29	4	1	部活動振興事業実施校
	30	3	31	第13代校長 坂口 昇平 勇退
平成30年度	30	4	1	第14代校長 田口 克己 就任
	30	4	1	スクールバス(羽村コース)増車
	30	4	1	特別支援学級の専門性向上事業
	30	4	1	部活動振興事業実施校
令和元年度	31	4	1	スクールバス(奥多摩コース)増車
	31	4	1	人権尊重教育推進校
	31	4	1	特別支援学級の専門性向上事業
	31	4	1	部活動振興事業実施校
令和2年度	2	4	1	人権尊重教育推進校
	2	4	1	特別支援学級の専門性向上事業
	2	4	1	部活動振興事業実施校
令和3年度	3	4	1	スクールバス(青梅コース)増車
	3	4	1	部活動振興事業実施校
	4	3	31	第14代校長 田口 克己 勇退
令和4年度	4	4	1	第15代校長 外山 裕介 就任
	4	4	1	スクールバス(新青梅街道コース)増車
令和5年度	5	12	20	開校50周年記念式典・開校50周年記念誌発行
	5	3	31	第15代校長 外山 裕介 勇退
令和6年度	6	4	1	第16代校長 井上 一仁 就任
	6	4	1	「特別支援教育の理解促進に向けた障害者スポーツを通じた交流の推進」研究指定校
令和7年度	7	4	1	スクールバス(基地周辺コース)増車
	7	4	1	「障害の程度が重い児童・生徒のためのデジタル活用場面の拡大」研究指定校
令和8年度	8	4	1	「障害の程度が重い児童・生徒のためのデジタル活用場面の拡大」研究指定校
				「社会の課題に対応した教育活動の展開」研究指定校
				「特別支援学校におけるスポーツ教育推進事業」研究指定校
				東京都立北多摩地区特別支援学校(仮称)開設準備室設置 東京都立学校校長 畠本 美香 就任

Ⅱ 児童・生徒・教職員概況

1 学部・学年別 学級数と児童・生徒数

(令和8年 5.1 現在)

各学部

小学部								中学部								高等部										
学年	学級数				児童数				学年	学級数				生徒数				学年	学級数				生徒数			
	重重	知的	自閉	計	男	女	計	重重		知的	自閉	計	男	女	計	重重	普通		計	男	女	計				
1	3	7	0	10	36	12	48	1	1	6	0	7	26	11	37	1	2	9	11	39	31	70				
2	2	4	2	8	30	7	37	2	1	4	0	5	14	11	25	2	3	9	12	49	28	77				
3	2	7	1	10	37	16	53	3	2	8	0	10	31	18	49	3	2	10	12	53	29	82				
4	2	2	1	5	16	5	21	計	4	18	0	22	71	40	111	計	7	28	35	141	88	229				
5	1	4	0	5	15	9	24																			
6	1	4	0	5	20	6	26																			
計	11	28	4	43	154	55	209																			

重重：重度・重障害学級 知的：知的障害の教育課程を履修する学級 自閉：自閉症の教育課程を履修する学級 普通：普通学級

全 校

学部	学級数	男	女	計
小学部	43	154	55	209
中学部	22	71	40	111
高等部	35	141	88	229
全校	100	366	183	549

2 居住地別児童・生徒数

地域 学部	青梅市	(友愛学園 (友愛学園))	(今井城学園 (今井城学園))	(砂町友愛園 (砂町友愛園))	(東京恵明学園 (東京恵明学園))	福生市	東大和市	武蔵村山市	羽村市	立川市	瑞穂町	奥多摩町	その他	計
小学部	57	4	1	1	1	27	44	18	35	2	23	0	3	209
中学部	38	5	0	0	0	16	17	17	14	0	7	0	2	111
高等部第1学年	25	5	0	0	0	10	10	6	6	0	11	1	1	70
高等部第2学年	17	7	0	0	1	10	7	21	11	1	8	0	2	77
高等部第3学年	23	6	1	1	1	6	13	18	12	1	6	0	3	82
計	160	27	2	2	3	69	91	80	78	4	55	1	11	549

(青梅市は施設を含んだ数)

3 教職員の構成

職 名	校長	副校長	主幹教諭※	特別支援教育 コーディネーター	進路専任	小学部		中学部		高等部		養護教諭	計	経営企画室長	主任	主事	業務	課長代理(栄養士)	会計年度任用職員	計	総計
						主任教諭	教諭	主任教諭	教諭	主任教諭	教諭										
計	1	2	5	2	1	9	57	9	29	19	57	3	194	1	1	3	1	1	6	13	207
男	1	2	4	1	1	6	12	5	15	9	31	0	77	1	0	2	1	0	3	7	84
女	0	0	1	1	0	3	45	4	14	10	26	3	106	0	1	1	0	1	3	6	112

※学部所属の主幹教諭は表内の各学部教諭に含めていない。

※東京都立北多摩地区特別支援学校(仮称)開設準備室 校長1 主幹教諭1 課長代理1 計3名

4 最近10年間の卒業生の進路状況

	企業就労	通学 (職業訓練校等)	福祉作業所等	その他	在家庭	卒業生計
平成28年度	25	0	34	0	6	65
平成29年度	23	0	40	0	5	68
平成30年度	21	0	41	0	3	65
平成31年度	26	0	38	0	2	66
令和2年度	33	0	36	1	1	71
令和3年度	27	0	28	3	5	63
令和4年度	19	0	34	1	2	56
令和5年度	28	0	43	0	4	75
令和6年度	29	0	33	0	3	65
令和7年度	26	0	38	0	3	67

5 最近10年間の在籍者数の推移

	小学部	中学部	高等部	全 校
平成28年度	116	87	190	393
平成29年度	130	84	203	417
平成30年度	147	78	206	431
平成31年度	155	74	207	436
令和2年度	156	78	200	434
令和3年度	154	91	193	438
令和4年度	153	103	193	449
令和5年度	146	116	199	461
令和6年度	169	122	216	507
令和7年度	186	110	225	521

6 通学区域とスクールバスコース

通学区域(5市2町)

羽村市、福生市、青梅市、武蔵村山市、東大和市、奥多摩町、瑞穂町

スクールバスコース

1	2	3	4	5	6	7
友愛学園	成木	御岳	福生	立川	旧青梅	東大和
8	9	10	11	12	13	14
武蔵村山	瑞穂	羽村	奥多摩	青梅	新青梅街道	基地周辺

Ⅲ 令和7年度 東京都立羽村特別支援学校経営報告

校長 井上 一仁

令和7年度の学校経営計画の達成状況等について以下の通り報告する。

1 本年度の最重点項目

- 児童・生徒の人権を尊重し、保護者、地域から信頼される、安心・安全な学校の確立
- 効果的・効率的な業務遂行と特別支援教育の専門性を高め、人材育成を図る組織の確立
- 地域と連携した学習活動や余暇活動の推進
- デジタル機器を活用した学習活動の推進と研究授業の充実

2 今年度の取組目標と具体的方策、数値目標等及び結果

【標語】A：達成（目標以上） B：ほぼ達成 C：やや未達成 D：未達成

*数値目標等は各項目の記載のとおり

（1）人権尊重の精神に基づく教育活動の推進

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	教職員全員が、常に人権感覚を磨き、児童・生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な指導、ハラスメントがない教育を実践する	保護者教員評価 100%	B：保護者 93% B：教員 99%
②	個人情報の保護を厳守するとともに、自ら服務の厳正に努め、服務規律を遵守する	保護者教員評価 100%	B：保護者 96% A：教員 100%
③	学年・クラス等で共有し、児童・生徒一人一人に卒業後を見越した適切な支援、指導を行う	教員評価 95%	A：教員評価 100%
④	「学校は、不安や悩みについて、家庭と連携し早期解決や未然防止に取り組んでいる。」に変更	保護者評価 100%	B：保護者 95% (わからない13件)
⑤	人権に配慮した日々の教育活動を実践する（児童・生徒の呼称、言葉遣い）	教員評価 100%	B：教員評価 99%
⑥	外部専門家（心理士）と連携した児童・生徒の悩み等の相談対応	年間 20 回	A：110 回実施
⑦	警察・少年センター・関係機関との連携した健全育成の取り組み	随時	必要に応じて活用

（2）安全・安心な教育環境の整備

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	安全な一人通学指導の推進	個別面談時に確認	個別面談時に確認
②	医療的ケア、アレルギー対応研修会及びマニュアルの改訂	随時	随時更新
③	実際に想定した災害時の避難訓練や行方不明捜索訓練等の実施	工夫した避難訓練 5 回以上	A：5 回実施
④	事故や災害時に適切に対応できるよう危機管理マニュアルの改善	随時	随時更新を実施
⑤	スクールバスの円滑で安全な運行の徹底	連絡会毎月／研修会年 2 回	毎週金曜日にミーティング、期会合・研修会を 2 回実施
⑥	放課後等デイサービスとの連携	学校評価 90%以上	B：肯定的回答 86%
⑦	家庭と連携した SNS 学校ルール of 改善と徹底	個別面談等で対応	個別面談、個別指導等で対応
⑧	主治医、子ども家庭支援センター、児童相談所、警察、消防等関係	随時	年間を通して随時実施

	機関と円滑な連携体制の強化		
⑨	PTA 役員等と定期的な懇談会の実施	年間5回以上	A：年間7回実施

(3) 自立と社会参加を目指した教育の充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	個別指導計画、学校生活支援シート（個別的教育支援計画）等に基づいた適切な指導の実施	保護者評価 95%以上	A：保護者 96%
②	「学校は、ICT 機器を活用した学習活動が充実している」に変更	保護者・教員評価 90%以上	B：保護者 73% わからない104件
③	地域資源を活用した授業実践を行う	保護者・教員評価 90%以上	B：保護者 85% A：教員 94%
④	外部専門員等の助言を活用し、指導や授業改善を図り、学年で共有する	教員評価 90%以上	A：99%
⑤	育成すべき3つの柱と主体的・対話的深い学びの視点を重視した授業を実践する	教員評価 90%以上	A：99%
⑥	教材ライブラリー等を活用しつつ、個々に合った教材の作成と効果的な活用を行う	教員評価 90%以上	A：91%
⑧	アセスメントに基づいた根拠のある指導を実践する	教員評価 90%以上	A：99%
⑨	本校の教育課題について学習指導に位置付け、実践を共有する（良好な人間関係を育むための keep safe プログラムや情報モラル教育（SNS）等の推進）	性教育、情報モラル教育実践等	キープ・セーフ・プログラム 高等部1年生14回 高等部2年生21回 高等部3年生22回の授業実践

(4) 社会に関わった学校づくりの推進

(5) 組織的・機能的な学校運営と人材育成

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	研究指定「特別支援教育の理解促進に向けた障害者スポーツを通じた交流の推進」事業における TOKYO ACTIVE PLAN for students に基づく地域と連携したスポーツ活動及び生涯を通じた文化・スポーツなどによる部活動の推進	高等部	球技部、サッカー部、バドミントン部、陸上競技部、音楽部、鉄道部、美術部で実施
②	地域や家庭への理解啓発を促すための各通信等の発行	月／1回	学校だより、進路だより、保健だより、給食だよりで発行
③	卒業後を見越し、一人一人に応じた適切な進路指導、進路相談の実施	保護者・教員評価 90%以上	B：保護者 74% A：教員 94%
④	進路に関する情報提供の実施	保護者・教員評価 90%以上	B：保護者 87% （わからない47件） B：教員 86%
⑤	近隣の小・中学校、高等学校との交流	各学部	小学部：松林小 中学部：羽村二中 高等部：羽村高校 小平高校
⑥	区教育委員会や地域指定校との連携による副都交の実施	小・中学部	113人が実施
⑦	就学前機関（幼稚園・保育園等）との連携強化と指導・助言の実施	年30回	B：相談件数20件 （小・中・高等学校相談件数75件）
⑧	ホームページやX（旧 Twitter）の充実と本校の情報発信	更新100以上	A：HP更新：310 X発信：100
⑨	生活支援シート等を活用し、家庭、医療、福祉等の関係機関との連携	随時	随時実施
⑩	地域資源を活用した学習活動の充実	各学部	羽村市、羽村動物園、ササキセンター、羽村支社協、GONA 等

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	教職員一人一人が「すべては子供たちのために」の方向性を統一するとともに、自己の職責を全うし主体的に、組織的に学校運営に参画する	教員評価 100%以上	B: 99%
②	若手教員等の育成を図るため、チームを編成し組織的に行う	教員評価 95%以上	B: 94.4%
③	職層に応じた役割を理解し学校運営に参画している。	教員評価 95%以上	A: 98%
④	主幹会では、連携を密にし、本校の課題の分析や本校が担うべき役割について情報を収集し、管理職に提言を行う	毎週実施	毎週月曜日に実施
⑤	企画調整会議は、学校の諸活動、諸課題について積極的に企画・提案し、学部・分掌会等を通じて教職員に周知する	毎週実施	毎週月曜日に実施
⑥	はむらの学び（シラバスの見直し、単元計画の作成）を組織的に行う	教科会	教科会を通じて単元計画を作成
⑩	学校評価アンケート（個人）、各学部・分掌等（組織）による学校評価の実施と改善（全員）	全員	組織：各学部・分掌 個人：アンケートを実施
⑪	服務事故防止研修、ヒアリング等による服務規律の徹底	年5回／事故ゼロ	A：年間を通じて5回の研修を実施
⑫	管理職による教職員の時間外勤務の把握及び庶務事務システムを活用した教職員の自己管理の徹底	毎月実施	職員連絡会で活用方法を周知した
⑬	定時退庁日やマイ定時退庁日等の設定、会議等の工夫による働き方改革の推進	毎週定時退庁日を設定	毎週水曜日を定時退庁日に設定
⑭	地域資源やTEPROを活用した業務効率の推進	主幹教諭	年間を通して活用
⑮	計画的な予算編成及び適切な予算執行の徹底	センター執行率60%	B: センター執行率48.7%
⑯	学事事務や就学奨励費等、教職員が連携し円滑な業務の実施	年間	年間
⑰	委託業者（給食調理、清掃業者）との円滑な連携	毎月連絡会の実施	定期的に実施した

3 本年度のまとめ

(1) 全体（学校評価アンケートを活用した数値目標）

今年度の学校経営については、「セーフティ・スクール」「スペシャリティ・スクール」「コラボレーション・スクール」「スマート・スクール」の4本柱に基づき進めた。学校経営計画と学校評価を連動させることで、教職員のみならず保護者にも学校運営への関心を喚起し、放課後等デイサービス事業所にもアンケートを実施するなど地域連携を強化した結果、児童・生徒の引き渡しや災害対応の改善策を多く得ることができた。保護者評価の回収率は93%を達成し、学校への高い期待を受け止めつつ、評価委員会の提言を次年度計画に反映し、更なる改善を図る。保護者・教職員アンケートを活用して数値目標を設定し、教育活動と学校運営の改善に努めている。人権尊重の指導や防災・危機管理体制の強化、外部専門家との連携相談、個別指導計画に基づく支援は高評価を得る一方、ICT活用学習の保護者評価向上が今後の課題である。加えて、障害者スポーツ交流や部活動、地域学校・就学前機関との連携を推進し、全職員が「すべては子供たちのために」の意識で組織運営と働き方改革に取り組んでいる。次年度はこれらの成果と課題を踏まえ、一人一人の可能性を最大限に引き出す学校づくりをさらに推進する。

(2) 提言

①人権尊重の精神で安心、環境整備を徹底し安全な学校（セーフティ・スクール）

・「安心安全」と「人権意識向上」の継続的な取組み

人権意識の尊重は、学校として定めた人権週間の取組みを引き続きお願いしたい。授業見学からも、一人一人の教職員が人権感覚を磨く努力を重ねていることが分かるため、今後の教育活動に生かすことを期待する。

・安全面では、駐車場の横断歩道設置の対応など、学校としての前向きな姿勢を感じることができる。学校評価の内容を丁寧に精査しながら、連携を進めてほしい。

②多岐にわたる特別支援教育の専門性を高める学校（スペシャリティ・スクール）

- ・児童・生徒の実態に即した適切な指導の展開
- ・学校卒業後に向けた各学部段階での日常生活及び進路指導の焦点化
- ・各学部間における指導の連携と移行支援
- ・進路指導については、継続的な進路指導の理解への取り組みが学校評価に反映されて来ている。各学部のライフキャリア・ワークキャリア双方の視点をより明確にし、学校全体での縦の連携、系統性を積み上げてほしい。

③保護者や地域と協働する学校（コラボレーション・スクール）

- ・更なる地域資源の活用とその情報発信
- ・近隣の小・中・高との活動・行事連携
- ・放課後等デイサービスへの丁寧な引継ぎ
- ・地域資源を活用しながら余暇活動の選択肢を示すことができている。学校を拠点としながらも地域資源と連携して余暇活動を活発にしていく取り組みについて積極的な情報発信を期待したい。今後も継続して、近隣の小・中・高との連携を行い地域社会での障害理解や信頼関係の構築を進めほしい。
- ・放課後等デイサービスに児童・生徒を引渡す際は、健康状態の異変や普段と異なる様子が見られる場合はより丁寧な情報共有（引継ぎ）をお願いしたい。

④デジタルを活用した教育活動を充実する学校（スマート・スクール）

- ・ICT機器及び付随するデジタルソフトウェアを活用した授業についての積極的な情報発信
- ・教職員全体のICT・デジタル活用スキル向上の底上げ
- ・今年度より学校経営計画の柱に据え、デジタル推進の研究を柱に、デジタルの活用促進については一定の効果が伺えた。ICT全般は便利なツールである一方、「どう使えるか」の検証や計画を踏まえたうえで、学習指導要領や年間指導計画を実施していくことに効果的であることが重要と考える。個別指導計画等での共有、面談等での積極的な情報共有など、効果をもたらす方法はいくつか考えられるため、せっかくの良い取り組みをより発信できていけると良い。
- ・児童生徒はもちろんのこと、教職員のデジタル活用・リテラシー向上のためには、外部の専門家や研修の計画的な構築を望む。

4 令和8年度学校経営における重点

○今年度の学校経営について

「一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校」（すべては子供たちのために）

令和8年度重点「子供たちのために、今、私たちに何ができるかを考え続ける」

○セーフティ・スクール強化

人権尊重の精神に基づき、安心して通える学校づくりと安全な教育環境の整備

○スペシャリティ・スクール深化

多様な教育的ニーズに応える特別支援教育の専門性を高める学校づくり

○コラボレーション・スクール拡張

保護者や地域、関係機関と連携・協働し、共に子供たちを育てる学校づくり

○スマート・スクール推進

デジタルを効果的に活用し、教育活動の一層の充実を図る学校づくり



IV 令和8年度 東京都立羽村特別支援学校経営計画

校長 井上 一仁

はじめに

本校は、創立53年目を迎える。今年度の目指す学校は、昨年度に続き、「一人一人の可能性を大切に、生きる力を育てる学校」とする。「すべては子供たちのために」という思いを教職員全員で共有し、子供たちが安心して学び、成長できるよう、安全な教育環境を基盤として、特別支援教育の専門性を高めていく。

令和8年度は、日々の取組の中で「子供たちのために、今、私たちに何ができるかを考え続ける」ことを大切にす。また、教職員が同じ考え方や行動の基準を共有し、信頼される学校であり続けるため、倫理要綱を定めた。子供たちを中心に、保護者や地域と連携・協働しながら、学校全体で教育活動を推進していく。

I 目指す学校と4つの柱

「一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校」(すべては子供たちのために)

1 セーフティ・スクール:人権尊重の精神を基盤とし、安心・安全を第一に考える学校

- (1)児童・生徒一人一人の人権を尊重し、「大切にされている」と実感できる関わりを学校全体で大切にする。
- (2)校内環境や防災・安全体制を点検・改善し、日常も非常時も安心して活動できる学校づくりを進める。
- (3)説明責任を果たし、保護者や地域から信頼される学校運営に努める。

2 スペシャリティ・スクール:専門性を磨き続け、学びと育ちを支える学校

- (1)児童・生徒一人一人の教育的ニーズを的確に捉え、専門性に基づいた指導・支援の質の向上を図る。
- (2)校内での学び合いや研修を通して、教職員一人一人が専門性を高め続ける組織をつくる。
- (3)特別支援教育のセンター的機能を果たし、校内外への発信と連携を進める。

3 コラボレーション・スクール:保護者・地域と協働し、子供の成長とともに支える学校

- (1)子供の健やかな成長を共通の目標とし、保護者との信頼関係を基盤とした連携を深める。
- (2)地域や関係機関とつながり、社会性や余暇活動の充実につながる学びの機会を創出する。
- (3)学校・家庭・地域が役割を分かち合い、子供を中心に据えた協働を進める。

4 スマート・スクール:デジタルの力を適切に活用し、学びの可能性を広げる学校

- (1)デジタル機器を活用した授業改善を目的意識をもって進め、教育活動の質の向上を図る。
- (2)児童・生徒の実態や障害特性に応じた活用を工夫し、一人一人に合った学びを実現する。
- (3)デジタルは手段であることを共通理解とし、他の柱を支えるツールとして活用する。
- (4)児童・生徒一人一人の実態に応じて、学び方を工夫・調整する授業実践を進め、将来の自立につながる「学び力」を育成する。

Ⅱ 中期的目標と方策

1 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進

- (1)体罰、不適切な指導等のない人権に配慮した教育を尊重する教育活動の推進
- (2)自殺予防、いじめ防止基本条例に基づく、いじめの防止・早期発見
- (3)児童・生徒の生活年齢や信条に配慮した教育活動の推進
- (4)スクールカウンセラーを活用した教育相談機能の充実

2 安全・安心な教育環境の整備

- (1)校舎内外の環境整備・安全対策
- (2)防災教育・防災対策の推進
- (3)家庭や福祉・医療機関、関係機関等と連携した指導の推進

3 自立と社会参加を目指した教育の充実

- (1)知的障害教育の専門性の向上
- (2)系統性や連続性のある教育課程の編成・実施・管理及び改善
- (3)一人一人に応じた自立と社会参加を見据えたキャリア教育の推進
- (4)進路指導や進路に関する情報を発信
- (5)「はむらの学び」に基づいた教育の実践
- (6)外部専門員との連携に基づく、指導内容と方法の改善
- (7)デジタル機器等を活用した多様な学びの推進

4 社会に開かれた学校づくりの推進

- (1)保護者や児童施設との連携の推進
- (2)特別支援教育コーディネーターを中心としたセンター的機能の充実
- (3)進路指導や進路に関する情報を発信
- (4)各市・町教育委員会や近隣の幼稚園、保育園、小・中・高等学校との連携による特別支援教育の理解推進
- (5)各市・町教育委員会と連携した副籍制度、交流及び共同学習の促進
- (6)地域と連携した学習活動や部活動、本人講座の推進

5 組織的・機能的な学校運営と人材育成

- (1)管理運営規定や校内規定等に基づいた組織的な業務遂行の徹底
- (2)業務の効率化や職場環境の整備等、働き方改革の推進
- (3)若手教員等を育成するサポート体制の構築
- (4)情報システムや人的資源の有効活用
- (5)経営企画室と連携した自立経営予算等の適正な執行
- (6)委託業者との円滑な連携
- (7)キャリアプランに基づいた人材育成の推進

Ⅲ 今年度の重点

令和8年度重点

「子供たちのために、今、私たちに何ができるかを考え続ける」

1 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進

- (1) 毎月の人権週間を基に、常に人権感覚を磨き、児童・生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な指導、ハラスメントがない教育を実践する(保護者・教員評価 100%)
- (2) 個人情報の保護を厳守するとともに、自らサービスの厳正に努め、服務規律を遵守する(保護者・教員評価 100%)
- (3) 学年・クラス等で共有し、児童・生徒一人一人に卒業後を見越した適切な支援、指導を行う(教員評価 95%)
- (4) いじめ、性被害、自殺予防の早期対応と相談、家庭との連携強化
毎学期児童・生徒アンケートの実施/相談は随時/学校サポートチームとの連携(保護者評価 100%)
- (5) 人権に配慮した日々の教育活動を実践する(児童・生徒の呼称、言葉遣い)
全員「さん」付け(教員評価 100%)
- (6) 外部専門員(心理士)やスクールカウンセラーと連携した児童・生徒の悩み等の相談対応(年間)
- (7) 警察・少年センター等、関係機関との連携した健全育成の取り組み(随時)

2 安全・安心な教育環境の整備

- (1) 教職員一人一人が同じ考え方や行動の基準を共有し、信頼される学校であり続けるため、倫理要綱の徹底を図る(全員)
- (2) 安全対策・事故の未然防止、施設の安全改善(ルールの徹底)
- (3) 安全な一人通学指導の推進(個別面談時に確認)
- (4) アレルギー、医療的ケア対応及びマニュアルの改訂(随時)
- (5) 実際を想定した災害時の避難訓練や行方不明捜索訓練等の実施(毎月実施)
- (6) 事故や災害時に適切に対応できるよう危機管理マニュアルの改善(随時)
- (7) スクールバスの円滑で安全な運行の徹底(連絡会/研修会年2回)
- (8) 放課後等デイサービスとの連携(学校評価満足度 90%以上)
- (9) 家庭と連携したSNS学校ルールの改善と徹底(実態を調査し個別面談等に対応)
- (10) 主治医、子ども家庭支援センター、児童相談所、警察、消防等関係機関と円滑な連携体制の強化(随時)
- (11) PTA 役員や地域会等、定期的な懇談会の実施(管理職、主幹教諭等/年間5回以上)

3 自立と社会参加を目指した教育の充実

- (1) 個別指導計画、学校生活支援シート(個別的教育支援計画)等に基づいた適切な指導の実施する(保護者・教員評価 95%以上)
- (2) 児童・生徒の実態把握と羽村のまなびをもとに、デジタル機器等の活用、視覚支援等を効果的に活用し、全員が研究授業を実施する(保護者評価90%以上・教員評価100%)
- (3) キャリア教育の視点をもち、地域資源を活用した授業実践を行う(保護者・教員評価 90%以上)
- (4) 外部専門員等の助言を活用し、指導や授業改善を図り、学年で共有する(教員評価 90%以上)
- (5) 育成すべき 3 つの柱と主体的・対話的深い学びの視点を重視した授業を実践する(教員評価 90%以上)
- (6) 教材ライブラリー(デジタル教材含む)を活用しつつ、個々に合った教材の作成と効果的な活用を行う(教員評価 90%以上)

- (7)アセスメントに基づいた根拠のある指導を実戦する(教員評価 90%以上)
- (8)本校の教育課題について学習指導に位置付け、実践を共有する。(高等部)
- (良好な人関係を育むための keep safe プログラムや情報モラル教育(SNS)等の推進)

4 社会に開かれた学校づくりの推進

- (1)研究指定「特別支援教育の理解促進に向けた障害者スポーツを通じた交流の推進」事業における TOKYO ACTIVE PLAN for students に基づく地域と連携したスポーツ活動及び生涯を通じた文化・スポーツなどによる部活動等の推進(高等部)
- (2)地域や家庭への理解啓発を促すための各通信等の発行(月／1回)
- (3)卒業後を見越し、一人一人に応じた適切なキャリア教育(進路指導)、進路相談の実施(保護者・教員評価 90%以上)
- (4)進路に関する情報提供の実施(保護者・教員評価90%以上)
- (5)近隣の小・中学校、高等学校との交流(各学部)
- (6)区教育委員会や地域指定校との連携による副籍交流の実施(実施率50%)
- (7)就学前機関(幼稚園・保育園等)や連携校(小・中・高等学校)との連携強化と指導・助言の実施(年30回)
- (8)ホームページやX(旧 Twitter)の充実と本校の情報発信(随時／100回以上)
- (9)生活支援シート等を活用し、家庭、医療、福祉等の関係機関との引継ぎ連携(随時)
- (10)地域資源を活用した学習活動の充実(各学部)

5 組織的・機能的な学校運営と人材育成

- (1)教職員一人一人が「すべては子供たちのために」の方向性を統一するとともに、自己の職責を全うし主体的に、組織的に学校運営に参画する(教員評価100%)
- (2)若手教員等の育成を図るため、チームを編成し、年間を通して適切な指導を行う(教員評価95%)
- (3)年間を通し本校の教育計画である、「はむらの学び」を活用した教育実践を行う(全員)
- (4)はむらの学び(シラバスや単元計画の見直し等)を組織的に行う(教科会)
- (5)個々の専門性を高めるため、デジタル活用をテーマとした校内研究体制を整備し、教員全員が参画する。年間を通して積み上げた研究の成果は、公開研究会において発表し、学校全体の指導力向上につなげる。(教員評価90%)
- (6)ミドルリーダーを中心とし、所掌する業務の進行管理を適切に行うとともに、円滑な引継ぎができるようマニュアルの整備及び活用を行う(分掌部等主任/教員評価95%)
- (8)主幹会では、連携を密にし、本校の課題の分析や本校が担うべき役割について情報を収集し、管理職に提言を行う(週 1 回)
- (9)企画調整会議は、学校の諸活動、諸課題について積極的に企画・提案し、学部・分掌会等を通じて教職員に周知する(週 1 回)
- (10)学校評価アンケート(個人)、各学部・分掌等(組織)による学校評価の実施と改善(全員)
- (11)服務事故防止研修、ヒアリング等による服務規律の徹底(年5回／事故ゼロ)
- (12)管理職による教職員の時間外勤務の把握及び庶務事務システムを活用した教職員の自己管理の徹底(毎月実施)
- (13)定時退庁日やマイ定時退庁日等の設定及び効率的な会議運営等による働き方改革の推進(全員)
- (14)地域資源やTEPROを活用した業務効率の推進(主幹教諭)
- (15)計画的な予算編成及び適切な予算執行の徹底(企画室／適正な執行及びセンター執行率60%)
- (16)学事事務や就学奨励費等、教職員が連携し円滑な業務の実施(年間)
- (17)委託業者(給食調理、清掃業者)との円滑な連携(連絡会の開催月 1 回)

V 教育課程

1 教育目標

- ・知識・技能を身に付け、豊かな心と健やかな身体を養い、学び続ける意欲と態度を育てる。
- ・自らの能力を発揮して、新たな課題を解決しようとする態度を育てる。
- ・社会の中でより良く暮らし働く態度を育み、自分らしく生きる力を育てる。

2 学部目標

【小学部】

重度・重複学級

- ・豊かな心と健やかな身体を育てる。
- ・自ら学習に取り組もうとする子供を育てる。
- ・友達や教師と豊かに関わり、自分の思いを伝えられる子供を育てる。

普通学級（知的）

- ・豊かな心と健やかな身体を育てる。
- ・自ら学習に取り組もうとし、自分の考えを表現できる子供を育てる。
- ・人との関わりを広げ、ルールやマナーを守って、集団の中で活動できる子供を育てる。

普通学級（自閉）

- ・豊かな心と健やかな身体を育てる。
- ・自ら学習に取り組もうとし、自分の考えを表現できる子供を育てる。
- ・友達や身近な人と関わり、個に応じたコミュニケーションの力を伸ばし、集団の中で活動できる子供を育てる。

【中学部】

重度・重複学級

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心と身体を育てる。
- ・様々な学習に取り組み、自分の考えを表現できる力を育てる。
- ・周囲の人と関わりながら、自分の役割を意識し、果たそうとする生徒を育てる。

普通学級（知的）

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心と身体を育てる。
- ・自ら学び、考え、表現できる力を育てる。
- ・社会の一員として役割をもち、自分から行動できる生徒を育てる。

普通学級（自閉）

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心と身体を育てる。
- ・自ら学び、考え、表現できる力を育てる。
- ・社会の一員として役割をもち、自分から行動できる生徒を育てる。
- ・身近な人とのやりとりを通して、コミュニケーションの力を伸ばし、人と適切に関わる力を育てる。

【高等部】

重度・重複学級（1 類型）

- ・規則正しく、健康で、落ち着いた生活ができる生徒を育てる。
- ・日常生活の基礎的な知識・技能を身に付け、学ぼうとする意欲と態度を育てる。
- ・適切な行動を身に付け、自ら集団の中で実行できる力を育てる。
- ・身近な集団の中でより良く暮らしていくための必要な態度を育み、関係を広げられる力を育てる。

普通学級（1 年）

- ・規則正しく、健康で、健全な生活ができる生徒を育てる。
- ・学校生活に必要な知識・技能を身に付け、自ら学ぼうとする意欲と態度を育てる。
- ・集団の中で自らの能力を発揮し、適切な行動をとることができる力を育てる。
- ・集団の中でより良く暮らしていくために必要な態度を育み、周囲の役に立とうとする生徒を育てる。

普通学級（2 類型）

- ・規則正しく、健康で、健全な生活ができる生徒を育てる。
- ・日常生活に必要な知識・技能を身に付け、自ら学ぼうとする意欲と態度を育てる。
- ・様々な人との関りの中で自らの能力を発揮し、適切な行動をとることができる力を育てる。
- ・様々な人との関りの中でより良く暮らしていくために必要な態度を育み、身近な人や地域の役に立とうとする生徒を育てる。

普通学級（3 類型）

- ・規則正しく、健康で、健全な生活ができる生徒を育てる。
- ・社会人として必要な知識・技能を身に付け、自ら学び続けようとする意欲と態度を育てる。
- ・地域社会の中で自らの能力を発揮し、課題解決に向けた適切な行動をとることができる力を育てる。
- ・社会の中でより良く暮らしていくために必要な態度を育み、社会に貢献しようとする生徒を育てる。

3 年間授業時数配当（計画時数）

小学部																			
教科 学年	重複・重複学級						普通学級（知的）						普通学級（自閉）						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
生活												37	35					37	35
国語	72	71	70	70	68	66	72	71	70	70	68	66	72	71	70	70	68	66	
算数	75	75	75	71	68	68	75	75	75	71	68	68	75	75	75	71	68	68	
音楽	35	36	36	39	37	37	35	36	36	39	37	37	35	36	36	39	37	37	
図画工作	36	35	35	61	61	65	36	35	35	61	61	65	36	35	35	61	61	65	
体育	108	118.2	122	122.4	120.4	123.8	112	152.4	156.4	157	153.8	157.4	142	152.4	156.4	157	153.8	157.4	
道徳科																			
特別活動																			
自立活動	67	67	71	67	67	67													
日常生活の指導	481.6	485	480.8	475.6	471.6	471.1	448	451.8	447.6	441.1	436.6	436.2	418	451.8	447.6	441.1	436.6	436.2	
遊びの指導																			
生活単元学習	77.8	82.8	123.8	140.8	140.8	131.8	145.2	150.2	195.2	208.2	171.2	167.2	78.2	83.2	121.2	141.2	101.2	100.2	
社会性の学習													67	67	71	67	67	67	
総時数	952.4	970	1013.6	1019.8	1036.8	1032.7	953.2	971.4	1018.2	1050.6	1035.6	1031.8	953.2	971.4	1015.2	1050.6	1035.6	1031.8	

中学部							高等部												
教科	学年	重複・重複学級			普通学級（知的）			普通学級（自閉）			重複・重複学級			普通学級					
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2		3		
															2類	3類	2類	3類	
国語		35	35	36	98	98.4	98	79	81.8	79	61.5	57.7	61.8	83.9	78.1	37	81.3	37	
社会					18	18	19	18	18	19				16	16	37	16	37	
数学		35	35	35	95.8	96.2	95.2	79.8	77.8	77.2	61.8	60.4	57.5	85.6	60.5	36	59.7	35	
理科					17	17	18	17	17	18				17	15	37	17	37	
音楽		67	68	66	67	68	66	67	68	66	73	71	66	73	71	56.4	66	58.5	
美術		65	66	69	65	66	69	65	66	69	74	57.8	57.8	71	57.8	72	57.8	66	
保健体育		134.4	135.4	132	152	152	149.5	152	152	149.5	188.5	188.2	182.4	188.5	188.2	152.3	182.4	154.6	
職業		中学部2年「職業・家庭」													68	35	149	38	147.4
家庭												36	57.8	53.4	36	57.8	59.5	53.4	52.7
職業・家庭		35	35	35	35	35	35	35	35	35									
外国語														35	36	35	38	35	
情報																35		35	
道徳科																			
特別活動		35	35	35	35	35	35	35	35	35	40.6	43	42.3	40.6	43	50.8	42.3	48.9	
自立活動		72	68	68							71	62	71						
日常生活の指導		312.9	340.6	337.5	253.1	251.3	248.7	253.1	251.3	248.7	115.2	116.4	114	115.2	116.4		114		
生活単元学習		109	105	101	79	73	68	45	40	35	146.2	97.5	95.7	35	37		36		
社会性の学習								69	68	70									
作業学習		70	67	66	85.2	81	80	85.2	81	80	156.7	215	213	156.7	215	272.8	213	270.8	
総合的な学習の時間・キャリア教育・外国語教育・情報教育・道徳教育・特別活動		36	35	36	36	35	36	36	35	36	39	39	39	39	39	39	39	39	
総時数		1036.3	1025	1016.5	1036.1	1025.9	1017.4	1036.1	1025.9	1017.4	1063.5	1068.8	1053.9	1063.5	1068.8	1058.5	1053.9	1053.9	

4 主な学習内容

小学部

生活	基本的な生活習慣、健康、安全、日常生活動作、日課・予定、健康・安全、身近な人との交際、集団参加、手伝いなどについて学習します。また、公共施設の利用や生命・自然についても取り扱います。（1～4年生は各教科等を合わせた指導で、5・6年生は教科及び教科等を合わせた指導で学習を行います）
国語	ハネルシアターや絵本、物語、フリップ教材を使用しながら、見る、聞く、説得力を育て、認識力やコミュニケーション力を高めます
算数	ハネルシアターや時計など、様々な視覚教材を見たり、ものともとの対応や分類など、具体的な操作やフリップ教材に取り組みながら、数概念や数量、図形、測定などの力を高めます
音楽	手遊びや歌唱、器楽、身体表現、音楽づくり、鑑賞等の学習を通して、様々な音楽に触れながら、楽しんで学習しています。学習は学年ごとで行っています
図画工作	感触遊び、描画、造形遊びなどの活動を通して、表現活動の楽しさを味わいながら学習をしています。学級や学年で行っています
体育	（低学年）リズム運動・基本の運動・ボール・身体表現・水泳を行います （高学年）基本の運動・ボール・身体表現・ゲーム・水泳などを行います
道徳科	規則正しい生活習慣、学校生活での約束、自分や家族・友達のことなどについて学習します （各教科等を合わせた指導を中心に、学校生活全体を通して行います）
特別活動	学級や学年での活動や行事の事前学習やまとめの学習、近隣小学校との交流及び共同学習、クラブ活動などを行います
自立活動	学校生活全般を通し、個々の障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために、必要な知識、技能、態度、習慣の形成を目指しています。（普通学級は教科学習と合わせた指導を中心に、学校生活全般で取り組みます）
日常生活の指導	着脱や排せつ、食事、手洗い、うがい、食事準備・片付け、持ち物の整理、掃除などの学習や朝の会、帰りの会など、一人一人の課題に合わせて主体的に生活を営む力を付けることをねらいとして取り組んでいます。（各教科等を合わせた指導で行います）
生活単元学習	校外学習や移動教室・文化祭などの行事を単元とした学習、季節の行事などを中心とした学習に取り組みます。生活に身近な事柄への興味・関心を広げ、経験を豊かにすることをねらいとして取り組んでいます。学級及び学年で行っています。また、外国語での挨拶、外国語を使った集団ゲーム、外国の文化、他者とのコミュニケーションの学習などに取り組みます。（各教科等を合わせた指導で行います）
社会性の学習	障害に応じた教育を進めるために自閉症の教育課程に設けられています。他者とのやり取りを中心とした対人関係に関することや、役割やルールを理解等ソーシャルスキルに関することを学習します。（自閉症の教育課程で取り組みます）

中学部

国語	読む、書く、伝える、考える、など基礎学力の向上を図ることをねらいとして、学年の生徒をそれぞれの課題に合わせてグループに分けて行なっています
社会	地域社会のルール、公共施設や制度、防災や地域の仕事、外国の様子などについて学習します。（年度・重複学級は各教科等を合わせた指導で行います）
数学	数、量、図形、金銭、時間など基礎学力の向上を図ることをねらいとして、学年の生徒をそれぞれの課題に合わせてグループに分けて行なっています。学級ごとに行う場合もあります
理科	生命や身近な自然、気象や現象、実験をとおして、物質やエネルギーについて学習します。（年度・重複学級は各教科等を合わせた指導で行います）
音楽	歌、器楽演奏、身体表現、日本文化に親しむなど、音楽に触れて感じたり受け止めたりする心や、音楽を楽しむ表現する力を育てることをねらいとして、学年ごとに行っています
美術	描画、工作、造形などの活動を通して、表現する喜びを味わうことをねらいとして、学年ごとに行っています
保健体育	ランニング、休つき運動、ストレッチ運動、筋力運動、水泳、オリンピック・パラリンピックに関する学習など、楽しく運動することや体力の向上をねらいとして、学年ごとに行います
職業・家庭	調理、家庭の中の仕事、働くことの意義を学習します
外国語	英語の挨拶、アルファベット、自己紹介、簡単な単語などを学習します。（各教科等を合わせた指導で行います）
道徳科	自分や友達のこと、マナー・ルール、社会生活に関すること、自国と他国に関すること、仲間意識などを学習します。（各教科等を合わせた指導を中心に、学校生活全体を通して行います）
特別活動	学級での諸活動（係活動、仲間作り、行事の準備等）を通して、集団での適切な行動や、人との関係、考える方を育てます
自立活動	学校生活全般を通して、障害による学習上や生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要なコミュニケーションや情緒の安定等に関する学習を行います。（普通学級は、教科学習と合わせた指導を中心に、学校生活全般で取り組みます）
総合的な学習の時間	体験的な学習や交流などを通して主体的に考え行動することをねらいとし、日本の伝統文化や芸術に触れる活動などを行います
日常生活の指導	衣服の着脱、排せつなどの身辺処理、一日の学習の準備やまとめの話し合い、安全な登下校、一人通学の指導、係活動、マナー・身だしなみに関する学習などを行います
生活単元学習	友達との関わりを大切にしながら、行事の事前・事後学習、季節に関する学習、進級・卒業に関する学習、環境に関する学習、地域奉仕活動、余暇を含めた社会生活に関する学習、外国語に関する学習を行います。（各教科等を合わせた指導で行います）
社会性の学習	対人関係に関することや社会的マナー・ルールに関する学習を自閉症の教育課程で行います
作業学習	作業能力を高め、物作りや作業的な活動を通して、経験を広げることがねらいとし、農園芸、リサイクル、クリーン、紙工に分かれて行い、働く意欲や態度を育てていきます

高等部	
国語	漢字の読み書き、文章理解、作文など国語の基本的なことや、ディベート、お礼状の書き方など実践的な学習を行っています
社会	地域の様子や公共施設の利用、主権者教育、日本の産業や歴史、文化、経済についてなどの学習を行っています（重度・重複学級は、各教科を合わせた指導で行います）
数学	数量、順序などの学習、四則計算、図形、数量の関係、データの活用、金銭、暦、単位などの基本的なことを、生活上の具体的な活用を用いて学習します
理科	身近な動植物、自然科学、生物と環境、物質、エネルギーなどについて、日常的事実と結び付けながら学習します（重度・重複学級は各教科等を合わせた指導で行います）
音楽	歌唱、器楽、創作表現、身体表現、鑑賞等の学習を通して、音楽に親しみ豊かな情感を養います
美術	絵画、造形などの表現や鑑賞等の学習を通して、創作や芸術の楽しさに触れ生活を豊かにする情懷を養います
保健体育	体操、陸上競技、球技等を通して、基礎体力の向上や身体理解、健康への関心を高めるとともに、健康な生活を送るための基礎的な事項について学びます
職業	働く上で必要となる基本的な知識、余暇や社会生活に必要な具体的な知識などについて学習し、インターンシップや現場実習を通して実践的に学びます（重度・重複学級は各教科等を合わせた指導で行います）
家庭	調理、被服、家庭の役割などについて、体験的な学習や身近なことを結びつけて家庭生活の基本的な知識、技能を身に付けます
外国語	外国の文化やアルファベット、ローマ字の読み書き、簡単な単語等、日常生活や行事に役立つ英語を学びます
情報	情報機器やSNSなどの情報リテラシー、また個人情報の扱いなどについて学習します（学校設置科目、2・3年生の3類型に設置しています）
道徳科	人権尊重、集団規律、社会のルール・マナー、自己や他者との関係、人間としての在り方生き方などについて学習します（各教科等を合わせた指導を中心に、学校生活全体を通して行います）
特別活動	係活動や清掃、話し合いなど学級での様々な活動を通して、自己理解と自己決定、人との関わりや集団の基本的ルール、役割などについて学習します
自立活動	健康の維持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション等、生徒個々の実態に応じて取り組みます（普通学級は、教科学習と合わせた指導を中心に、学校生活全般で取り組みます）
総合的な探究の時間	社会問題や環境に関すること、社会貢献活動、日本の伝統文化、卒業に関連すること、行事の事前事後学習や季節に関することなど社会生活に関することを題材に、主体的に考え取り組む学習を行います
日常生活の指導	衣服の着脱、排せつ、衛生習慣、健康管理、礼儀作法などの基本的な身辺自立やマナー学習に取り組むとともに、朝の会や帰りの会、朝清掃、日課帳記入など、日常的なことを見通しをもって取り組み、規則正しい生活習慣について実践的に学習します（各教科等を合わせた指導で行います）
知的能力開発	身近な生活に結びつく内容や行事などに関連する内容、余暇を含めた社会生活に関する内容を、体験的な活動を通して学習します（各教科等を合わせた指導で行います）
作業学習	実践的な活動を通し、働く意欲や態度を育成します（リサイクル、総合キャリア、窯業、クリーンサービス、木工、ハンドクラフト、食品加工、農園芸、オフィスワーク）

小学部

第2学年 重度・重複学級						第2学年 普通学級 (知的)						第2学年 普通学級 (自閉)					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
9:45																	
9:00	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	
9:15	指導:30分	指導:30分	指導:30分	指導:30分	指導:30分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	
9:30	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	
9:45	指導:20分	指導:20分	指導:20分	指導:20分	指導:20分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	
10:00																	
10:15	国語	国語	算数	体育	生活単元学習	国語	国語	算数	体育	生活単元学習	国語	国語	算数	体育	生活単元学習	国語	
10:30	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	
10:45																	
11:00																	
11:15	図工工作	音楽	戸外活動	算数	生活単元学習	図工工作	音楽	生活単元学習	算数	生活単元学習	図工工作	音楽	社会科の学習	算数	生活単元学習	国語	
11:30	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	45分	
11:45																	
12:00	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	
12:15	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	
12:30	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	給食	
12:45	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	
13:00	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	休養	
13:15	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	20分	
13:30	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	
13:45	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	指導:25分	
14:00																	
14:15	自立活動																
14:30	45分																
14:45																	
15:00																	
15:15	日常生活の指導					日常生活の指導					日常生活の指導						
15:30	40分					20分					20分						
15:45																	

18

中学部

第1学期 重慶・重複学習					
	月	火	水	木	金
9:45					
9:00	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分
9:15					
9:30	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分
9:45					
10:00					
10:15	自由活動 50分	生活単元学習 50分	授業学習 50分	自由活動 50分	音楽 50分
10:30					
10:45					
11:00	職業・家庭 50分	生活単元学習 50分	授業学習 50分	総合的な学習の時間 50分	保健体育 50分
11:15					
11:30					
12:00	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分
12:15	給食 35分	給食 35分	給食 35分	給食 35分	給食 35分
12:30					
12:45	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分
13:00	給食 15分	給食 15分	休養 15分	給食 15分	給食 15分
13:15					
13:30	保健体育 50分	図画 50分	日常生活の指導 20分	美術 50分	音楽 50分
14:00					
14:15					
14:30	音楽 50分	生活単元学習 50分		美術 50分	特別活動 50分
14:45					
15:00					
15:15	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分
15:30					
15:45					

第 1 学年 普通学级 (知的)									
月		火		水		木		金	
日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分
保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分	保健体育 25分
国語 30分	生活算元算 35分	作業学習 30分	運動 30分	音楽 30分					
読書・算数 20分	生活算元算 35分	作業学習 30分	総合的な学習の時間 50分	保健体育 30分					
数学 20分	国語 20分	作業学習 20分	数学 20分	国語 20分					
給食 35分	給食 35分	給食 35分	給食 35分	給食 35分					
日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分					
体育 15分	体育 15分	読書 25分	音楽 15分	体育 15分					
保健体育 30分	数学 30分	日常生活の指導 20分	美術 30分	数学 30分					
		トキ							
音楽 35分	社会・理科 35分		美術 30分	特別活動 30分					
日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分		日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分					

第 十 学 年 普 通 学 级 (自 閉)									
月		火		水		木		金	
日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)	
保健体育(25分)		保健体育(25分)		保健体育(25分)		保健体育(25分)		保健体育(25分)	
社会性の学習(30分)		生活原要素(30分)		作業学習(30分)		習字(30分)		音楽(30分)	
職業・家庭(30分)		社会性の学習(30分)		作業学習(30分)		総合的な学習の時間(30分)		保健体育(30分)	
数学(20分)		国語(20分)		作業学習(20分)		数学(20分)		国語(20分)	
給食(30分)		給食(30分)		給食(30分)		給食(30分)		給食(30分)	
日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(25分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)	
体育(15分)		体育(15分)		休憩(20分)		体育(15分)		体育(15分)	
保健体育(30分)		数学(30分)		日常生活の指導(20分)		美術(30分)		国語・数学(30分)	
音楽(30分)		社会・理科(30分)		トナリ		美術(30分)		特別活動(30分)	
日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)		日常生活の指導(20分)	

第2学年 重度・重複学級					
	月	火	水	木	金
8:45			給食		
9:00	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分
9:30	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分
9:45					
10:00					
10:15	自立活動 30分	音楽 30分	午会学習 30分	職業・家庭 30分	保健体育 30分
10:30					
10:45					
11:00	生活単元学習 30分	保健体育 30分	作業学習 30分	自立活動 30分	音楽 30分
11:15					
11:30					
11:45	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分
12:15	給食 30分	給食 30分	給食 30分	給食 30分	給食 30分
12:30					
12:45	日常生活动の指導 25分	日常生活动の指導 25分	日常生活动の指導 25分	日常生活动の指導 25分	日常生活动の指導 25分
13:00	保健 15分	保健 15分	休養 25分	給食 15分	給食 15分
13:15					
13:30	美術 50分	国語 50分	日常生活动の指導 30分 1・校	生活単元学習 50分	読書 50分
13:45					
14:00					
14:15					
14:30	算術 50分	特別活動 50分		生活単元学習 50分	総合的な学習の時間 50分
14:45					
15:00					
15:15	日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分		日常生活动の指導 20分	日常生活动の指導 20分
15:30					
15:45	校				校

第 2 学年 普通学級 (知的)				
月	火	水	木	金
日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分
保健体育 : 25分	保健体育 : 25分	保健体育 : 25分	保健体育 : 25分	保健体育 : 25分
国語 : 50分	算数 : 50分	作業学習 : 50分	算数・家庭 : 50分	保健体育 : 50分
社会 国礼 : 50分	環境体育 : 50分	作業学習 : 50分	国語 : 50分	音楽 : 50分
数学 : 70分	国語 : 70分	作業学習 : 70分	数学 : 70分	国語 : 70分
音楽 : 60分	国語 : 60分	音楽 : 60分	音楽 : 60分	数学 : 60分
日常生活の指導 : 25分	日常生活の指導 : 25分	日常生活の指導 : 25分	日常生活の指導 : 25分	日常生活の指導 : 25分
国語 : 50分	数学 : 50分	国語 : 50分	数学 : 50分	国語 : 50分
国語 : 50分	特別活動 : 50分	生活单元学習 : 50分	総合的な学習の時間 : 50分	総合的な学習の時間 : 50分
日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分	日常生活の指導 : 20分

第 2 学 年 普 通 学 級 (自 閉)									
月		火		水		木		金	
日常生活の指導:70分		日常生活の指導:70分		日常生活の指導:70分		日常生活の指導:70分		日常生活の指導:70分	
保健体育:25分		保健体育:25分		保健体育:25分		保健体育:25分		保健体育:25分	
社会科の学習:30分		音楽:30分		体育学習:30分		算数・算術:30分		保健体育:30分	
社会科理科:30分		保健体育:30分		作業学習:30分		国語:30分		音楽:30分	
国語:70分		国語:70分		作業学習:70分		国語:70分		国語:70分	
給食:70分		給食:30分		給食:30分		給食:30分		給食:30分	
日常生活の指導:25分 保健:15分		日常生活の指導:25分 保健:15分		日常生活の指導:25分 保健:15分		日常生活の指導:25分 保健:15分		日常生活の指導:25分 保健:15分	
美術:35分		数学:30分		日常生活の指導:25分 ト 収		生活基本学習:35分		国語・数学:30分	
算術:35分		特設活動:35分		社会科の学習:35分		総合的な学習の時間:35分			
日常生活の指導:25分		日常生活の指導:25分		日常生活の指導:25分		日常生活の指導:25分		日常生活の指導:25分	

	第3学年 重度・重複学級				
	月	火	水	木	金
8:45					
9:00	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分
9:15	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分
9:30	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分	保健体育 20分
9:45					
10:00					
10:15	算数・家庭 50分	保健体育 50分	外国語 50分	生活単元学習 50分	算数 50分
10:30					
10:45					
11:00	国語活動 50分	音楽 50分	外国語 50分	国語活動 50分	算数 50分
11:15					
11:30					
11:45	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分
12:00	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分
12:15	給食 30分	給食 30分	給食 30分	給食 30分	給食 30分
12:30					
12:45	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分	日常生活の指導 25分
13:00	算数 15分	算数 15分	体育 15分	音楽 15分	算数 15分
13:15					
13:30					
13:45	音楽 50分	国語 50分	日常生活の指導 20分	生活単元学習 50分	算数 50分
14:00			ト ン 松		
14:15					
14:30	保健体育 50分	特別活動 50分	生活単元学習 50分		総合的な学習の時間 50分
14:45					
15:00	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分	日常生活の指導 20分
15:15					
15:30					
15:45					

第3学年 普通學級 (知的)				
月	史	水	木	金
日常生活の指導:20分	日常生活の指導:25分	日常生活の指導:20分	日常生活の指導:20分	日常生活の指導:20分
保健体育:25分	保健体育:25分	保健体育:25分	保健体育:25分	保健体育:25分
算数・算術:30分	保健体育:50分	作業学習:30分	社会16 理科:17 50分	美術:50分
国語:30分	音楽:30分	作業学習:30分	国語:30分	音楽:30分
数学:20分	国語:20分	作業学習:20分	数学:20分	国語:20分
給食:30分	給食:30分	給食:30分	給食:30分	給食:30分
日常生活の指導:15分	日常生活の指導:15分	日常生活の指導:25分	日常生活の指導:25分	日常生活の指導:25分
15分	15分	休息:15分	音楽:15分	音楽:15分
音楽:50分	数学:50分	日常生活の指導:20分	生活單元学:50分	数学:50分
		ト 松		
保健体育:30分	特別活動:50分		生活單元学:50分	総合的な学習の時間:50分
日常生活の指導:20分	日常生活の指導:20分	日常生活の指導:20分	日常生活の指導:20分	日常生活の指導:20分

第 3 學年 普通學級 (白閉)				
月	1	2	3	4
日常生活の指導 (20分)	日常生活の指導 (20分)	日常生活の指導 (20分)	日常生活の指導 (20分)	日常生活の指導 (20分)
保健体育 (25分)	保健体育 (25分)	保健体育 (25分)	保健体育 (25分)	保健体育 (25分)
算数・書道 (30分)	保健体育 (30分)	作業学習 (30分)	社会生活科 (17・30分)	音楽 (30分)
社会性の学習 (30分)	音楽 (30分)	作業学習 (50分)	国語 (30分)	美術 (30分)
数学 (20分)	国語 (20分)	作業学習 (30分)	数学 (20分)	国語 (20分)
給食 (30分)	給食 (30分)	給食 (30分)	給食 (30分)	給食 (30分)
日常生活の指導 (25分)	日常生活の指導 (25分)	日常生活の指導 (25分)	日常生活の指導 (25分)	日常生活の指導 (25分)
	休憩 (15分)	休憩 (25分)	体育 (15分)	体育 (15分)
音楽 (30分)	数学 (30分)	日常生活の指導 (20分)	生活科・算数 (30分)	国語・数学 (30分)
		ト 4 区		
保健体育 (30分)	特別活動 (30分)		社会性の学習 (30分)	総合的な学習の時間 (30分)
日常生活の指導 (20分)	日常生活の指導 (20分)		日常生活の指導 (20分)	日常生活の指導 (20分)

高等部

$$15.45 \quad \frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$$
$$\vdash \quad x_i$$

15:45 卜 松

1. 環境

$$1 \leq i \leq n, \quad \text{and} \quad \mathbf{1} \leq j \leq n.$$
[illegible]

† $\mathbb{F}_q$

ト、 $\dot{q}_2$ なる速度を以て、

6 年間行事予定 2便・15:40下校 1便・14:00下校 0便・11:30下校

4月(授業日数17日)		5月(授業日数18日)		6月(授業日数22日)	
1	水 3F～4F(学生会(新入生対象))	金 安全指導日・点検日 個別面談開始日 高2能力検査 高1進学生部(総合)	日 小1(新着休業日) 安全指導日・点検日 本休指導開始開始 中2能力検査	1	
2	木	土	火 中1能力検査	2	
3	金	日 運動記念日	水 中1(西多摩衛生組合連携事業 全校:部科検査(予備)13:00～14:00 小高:部科検査	3	
4	土	月 みのりの日	木 小3～6(新着)1便下校 部科検査② 小高:部科検査	4	
5	日 新着休業(前)	火 二の日の日	金 高3校外学習(正川方面) 小3能力検査	5	
6	月 全校0便下校 総集式	水 新着休業	土 新入選抜① オンライン(ア)選抜②	6	
7	火 全校0便下校 小中入学式	木 小4(移動教室)説明会(13:30～ 全校:耳聾科検査(全日)	日	7	
8	水 全校0便下校 高入学式	金 高1能力検査	月 小1(2)能力検査	8	
9	木 小1(新着)11:30下校(遠走) 小3～6(中高)1便下校 総合開始 高 2(現着)実習・高2インターンシップ開始 高3(現着)開校	土	火 小4(現着)前校13:00～	9	
10	金 小1(新着)11:30下校(遠走) 中1(新着)1便下校 高2(現着)開校	日	水 中1(西多摩衛生組合連携事業(予備))	10	
11	土	月 中3能力検査 高2(現着)説明会(海蔵査対象)10:00～11:30	木 小4(移動教室)～12日	11	
12	日	火 小3校外学習(高尾山) 中2能力検査 中1(部科)検査13:00～	金	12	
13	月 中1(新着)1便下校 小1(給食開始) 高1(現着)開校 全校保護者会10:30～10:45 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	水 全校:部科検査9:00～12:00	土	13	
14	火 全校1便下校 中1(現着)開校 中2(保護者)会10:30～11:30	木 中1(新着)1便下校 部科検査 部科検査②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	日	14	
15	水 安全指導日 中1(保護者)会10:30～11:30 高2(保護者)会10:00～11:00 各学部1年(心電図・レントゲン)検査(レントゲン)検査(高1のみ)	金 安全指導日 中1能力検査 部科検査②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	日 安全指導日	15	
16	木 運動記念日	土	火 全校授業準備～18日	16	
17	金 高1(保護者)会11:00～14:45 高1(現着)下校	日	水	17	
18	土	月 小3能力検査	木	18	
19	日	火 小3能力検査 PTA(部科)委員会①	金 部科検査	19	
20	月 個別面談開始(～5月1日) 小1(現着)開校 小4(保護者)会10:00～10:45	水 高3(部科)検査	土	20	
21	火 全校1便下校 小2(保護者)会10:00～10:45 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	木 高2(部科)検査 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	日	21	
22	水 高1(新着)1便下校 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	金 中1(新着)1便下校 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	月	22	
23	木 小3～6(新着)1便下校 小4(保護者)会10:00～10:45 小1(保護者)会10: 30～11:45 中1(保護者)会10:30～11:30 高1(保護者)会14:00～14:45 高1(現着)開校	金 中1(新着)1便下校 中1(体育)授業発表会	火 小3校外学習予備日 中1(校外学習)立川(防犯)館 PTA(部科)委員会②	23	
24	金 小3(保護者)会10:30～11:45 中1(新着)開校 小高(現着)開校	日	水 セーブデー(祝日)	24	
25	土	月 中1(新着)休業日 高3能力検査	木 学校定例会(高等部入学者希望) 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	25	
26	日	火 小1(部科)検査13:00～	金	26	
27	月 小3(保護者)会10:00～10:45 小1(現着)開校	水 高1(部科)検査	土	27	
28	火 小1(中1)1便下校 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	木 小3～6(新着)1便下校 中1(部科)検査	日	28	
29	水 運動の日	金 高1能力検査 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	月	29	
30	木 高3能力検査 部科検査①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	土 小1(体育)授業発表会	火 中2校外学習(多摩六郎科学館)	30	
31		日		31	
来 定	小1(現着)開校	来 定		来 定	

7月(授業日13日)		8月(授業日数0日)		9月(授業日数29日)		
1	本	安全指導日・点検日 高1保護者会14:00～14:45	土	大	全校9校下校 始業式 安全指導日・点検日	1
2	本	中・高1校下校 臨床発達心理士による相談	日	本	小4～6年級1校下校 始業開始・中・高1校開始	2
3	金	道徳訓練	日	本	小3～6年級1校下校 小3移動教室説明会9:30～ 小6始業開始 高2現場実習開始 高2保護者会13:00～14:45	3
4	土	本人講話会 高2インテリア講話会	火	金	小3始業開始 高2保護者会13:00～14:45	4
5	日		水	土		5
6	月	小5保護者会10:00～10:45	木	日		6
7	火	小2保護者会10:30～11:00 中1保護者会10:30～11:30 小3保護者会13:30～14:30	金	月	高1事前相談(内部) 中3始業式行進開始13:30～14:30 小12始業開始	7
8	水	学校見学会(小・中・高1学年希望)	土	火	小3進路委員会	8
9	木	小3～6年級1校下校 小4保護者会14:00～14:45 中2保護者会10:30～11:30 小1保護者会10:30～11:30 親島相談会	日	本	道徳訓練 個別面談開始(～18日)	9
10	金	日曜特別行 小4保護者会10:00～10:45 中2保護者会13:30～14:30	月	本	小3～6年級1校下校	10
11	土		火	金	中・高1校1校下校	11
12	日		水	土	本人講話会 高2インテリア講話会	12
13	月	交通安全教室	木	日		13
14	火		金	月		14
15	水	小4～6年級1校下校 安全指導日 始業式	土	火	全校1校下校 安全指導日	15
16	木	全校1校下校 高2現場実習・高2インテリア講話会	日	本		16
17	金	全校1校下校 始業式	月	本	中2移動教室説明会 親島相談会	17
18	土		火	金	小16始業開始 個別面談開始	18
19	日		水	土		19
20	月	曜の日	木	日		20
21	火	夏季休業(短) 高2卒業生AM1(高輪・ローワー)	金	月	敬老の日	21
22	水		土	火	国民の休日	22
23	木		日	水	秋分の日	23
24	金		月	木	小3～6年級1校下校	24
25	土		火	金	中・高1校1校下校	25
26	日		水	土		26
27	月		木	日		27
28	火		金	月	高1卒業生13:15～	28
29	水		土	火	高1移動教室(～30日) 小4既卒生(多摩動物公園)	29
30	木		日	本		30
31	金		月	本	夏季休業(短)	31
来年度		来年度	理解推進委員会	来年度		

10月(授業日数20日)		11月(授業日数19日)		12月(授業日数19日)	
1	水 国民の日 学校閉校日	日		火 小・短編1便下校 安全指導日・点検日 引越した生徒5〜10人	1
2	金 安全指導日・点検日 生徒会選挙	月	安全指導日・点検日 高2・高3・高4部13:15〜	水	2
3	土	火 文化の日		木 小3〜6中短編1便下校	3
4	日	水 中・中卒説明会(46対象)		金 引越した生徒	4
5	月	木 高2・3修学旅行(合同・〜6日) 調査試合		土 引越した生徒	5
6	火 小・短編1便下校 中3・高1・高2部13:00〜	金		日	6
7	水	土		月 振替休業日	7
8	木 中3修学旅行(〜9日) 調査試合	日		火 小・短編1便下校 引越した生徒14人	8
9	金 高1職業見学会(AM)	月	臨休(発達・障害)による無休	水 中3保護委員会10:30〜11:30	9
10	土	火 小3校外学習(旧村市・中東児童館) 215歳児童委員会		木 小3〜6短編1便下校 中2保護委員会10:30〜11:30 高1保護委員会10:30〜11:45 調査試合	10
11	日	水 小4〜6高短編1便下校 総合防災訓練(避難訓練・引越訓練・26種)		金 中3保護委員会10:30〜11:30	11
12	月 大祭〜3日間	木 小3〜6短編1便下校		土	12
13	火	金		日	13
14	水 中・西多摩衛生組合連携事業	土		月 小3保護委員会10:30〜11:45	14
15	木 授業参観期間(〜17日)	日		火 安全指導日 小2校外学習予備日 小2保護委員会13:30〜14:15 高2保護委員会14:00〜14:45	15
16	金	月 安全指導日 引越した生徒練習期間開始		水 小2保護委員会10:30〜11:45 高2保護委員会14:00〜14:45	16
17	土 中・高短編1便下校 教材展 月曜閉校 引越した生徒10:30〜12:00	火 小3校外学習予備日		木 小3〜6短編1便下校 小4保護委員会10:30〜11:45 小1保護委員会10:30〜11:45	17
18	日	水		金 避難訓練	18
19	月 振替休業日	木 調査試合①		土 冬入道祭	19
20	火 教育実習(〜12/2) 小4校外学習予備日	金		日	20
21	水 避難訓練 地域・関係機関と連携した防災訓練	土		月 小4保護委員会10:30〜11:45	21
22	木 中短編1便下校 学校公開(一般)	日		火 引越した生徒10:30〜12:00	22
23	金 選手決定15:00〜17:00	月	総合運動の日	水 小4〜6短編1便下校 応急時	23
24	土 冬入道祭 ボランティア講座①	火		木 全校短編1便下校 高2・高3実習時	24
25	日	水		金 全校1便下校 終業式	25
26	月	木		土 冬休休業(1日)	26
27	火 小3校外学習(昭和記念公園) 中2・高1・高2部13:00〜	金		日	27
28	水 小4〜6短編1便下校 中・西多摩衛生組合連携事業(午会)	土		月 学校閉校日	28
29	木 小3〜6短編1便下校 中2・高1・高2部(〜30日) 小3・高3部(〜30日)	日		火	29
30	金 小3校外学習(旧村市動物公園) 選手権日なし	月		水	30
31	土 冬入道祭 ボランティア講座②			木	31
寒 期				金	

1月(授業日数15日)		2月(授業日数18日)		3月(授業日数18日)	
1	金	高1期1便下校 安全指導日・点検日	月	安全指導日・点検日 小4保護者会10:00～10:45	1
2	土	高1期1便下校 (高1休業日)(高等学校開講)	火	臨床発達心理士による相談 中3校外学習(マサダス) 小2保護者会10:30～11:45 小3保護者会13:30～14:15	2
3	日		水		3
4	月		木	小4保護者会10:00～10:45 小1保護者会10:55～11:45	4
5	火		金	高2校外学習(東京方面)	5
6	水		土		6
7	木	春季休業(1日)	日		7
8	金	全校0便下校 始業式 安全指導・点検日	月	中1期1便下校 個別面談開始日(高専部 ～24日)	8
9	土	成人講座②	火	中1期2便下校 中1日入学	9
10	日		水	小4～6期1便下校 個別面談開始日(小・中学部 ～24日)	10
11	月	成人の日	木	建国記念の日	11
12	火	小・中1期1便下校 給食開始 高2期1便下校開始 個別面談開始	金	高2校外学習(横浜方面)	12
13	水		土		13
14	木	給食開始	日		14
15	金	安全指導日 臨床発達心理士による相談	月	安全指導日	15
16	土		火	小4校外学習(多摩六郡特学部) 中1校外学習(多摩動物公園) PTA総会委員会	16
17	日		水	小4～6期1便下校 高2期1便下校	17
18	月	授業準備期間(～26日)	木	小3～6期1便下校 高1卒業式(高3 11:30下校)	18
19	火		金	高1期1便下校 高1期1便下校	19
20	水		土		20
21	木		日	春分の日	21
22	金	全校期1便下校	月	全校保護者会10:00～ 福祉士(7～11:00～12:30)	22
23	土		火	天皇誕生日	23
24	日		水	個別面談開始日	24
25	月	教育実習(小中～25 高～26)	木	給食開始 給食指導	25
26	火	PTA総会委員会	金	中3年生を送る会 高3年生を送る会(PTA)	26
27	水	給食開始	土		27
28	木		日		28
29	金	与謝野節②	月		29
30	土		火		30
31	日		水		31
未定	高1入学願書受付	未定	高1入学予定者発表	未定	

VI 学校運営

1 管理運営規程

第1 目的

この規程は、法令及び東京都教育委員会規則等の定めるところに従い、東京都立羽村特別支援学校（以下「本校」という。）の管理運営に関し、必要な基本的事項を定め、円滑かつ効果的な学校運営を推進することを目的とする。

第2 事案決定

本校における事案決定は、東京都立学校事案決定規程等に基づき、原則として文書により行う。

第3 校長

校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4 副校長

- 1 副校長は、校長を助け、命を受けて校務をつかさどり、及び校務を整理する。
- 2 副校長は校長の命を受け、所属職員（経営企画室の所属職員を除く。）を監督し、及び必要に応じて児童・生徒の教育をつかさどる。

第5 主幹教諭

- 1 主幹教諭は、校長及び副校長を助け、命を受けて校務の一部を整理し、ならびに児童・生徒の教育をつかさどる。
- 2 主幹教諭は、担当する校務について、所属職員（経営企画室の所属職員を除く。）を監督する。

第6 主任教諭

学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する主務教諭の職名は、主任教諭とする。

主任教諭は、特に高度の知識又は経験を必要とする教諭の職として、以下の役割を担う。

- 1 主任教諭
生徒の教育をつかさどり、及び命を受けて学校の教育活動に関し教諭その他の職員間における総合的な調整を行う。
- 2 主任養護教諭
生徒の養護をつかさどり、及び命を受けて学校の教育活動に関し教諭その他の職員間における総合的な調整を行う。
- 3 主任栄養教諭
生徒の栄養の指導及び管理をつかさどり、並びに命を受けて学校の教育活動に関し教諭その他の職員間における総合的な調整を行う。

第7 経営企画室長

経営企画室長は、校長の命を受け、経営企画室の事務を統括処理する。

第8 校務分掌組織

校務に関する分掌組織は、次のとおりとする。（ただし、特別の事情のあるときはその一部を置かないことができる。）

1 分掌部

教務部、情報管理部、研究部、研修部、生活指導部、スクールバス部、保健給食部、進路指導

部、教育相談部、地域支援部、地域作業部を置く。

2 学部

小学部、中学部、高等部を置く。

3 企画調整会議

4 職員連絡会

5 委員会

(1) 委員会等

教育課程検討委員会、安全衛生委員会、学校開放事業運営委員会、ホームページ管理運営委員会、防災委員会、学校保健委員会、学校給食委員会、省エネ委員会、防災教育推進委員会、食物アレルギー対応委員会、医療的ケア安全委員会、学校いじめ対策委員会及び学校サポートチーム、摂食検討委員会、校内委員会、図書委員会、教科書選定委員会、外部専門員活用委員会、業者選定委員会を置く。

(2) プロジェクト

キープセーフプロジェクトを置く。

6 教科会

全校：国語、算数・数学、音楽、図工・美術、体育・保健体育、外国語・外国語活動、道徳、自立活動

小学部：生活

中学部・高等部：理科、社会、職業、家庭

高等部：情報、作業学習

7 学校運営連絡協議会

8 部活動の指導

教育活動の一環として部活動を設置し、適切に運営する。部活動に関する事項については地域支援部の所掌とし、各部活動の指導業務は、当該部活動の指導を分掌する職員及び指導を委嘱された者が行う。

9 情報セキュリティ及び個人情報保護

情報セキュリティ及び個人情報保護に関する事項については、情報管理部の所掌とする。

10 その他

校長が必要と認めたときは、その他の事務を含める。

第9 北多摩地区特別支援学校（仮称）開設準備室との連携・協力

管理職・教務主幹を軸として、北多摩地区特別支援学校（仮称）開設準備室との連携・協力を適宜行う。

第10 経営企画室組織

経営企画室の事務は、経営、庶務、経理及び施設その他の事務とする。

第11 企画調整会議

1 目的

企画調整会議は、校長の補助機関として、校長の学校経営計画に基づき、学校全体の業務に関する企画立案及び連絡調整、各分掌組織間の連絡調整、職員連絡会における議題の整理、その他校長が必要と認める事項を行い、円滑かつ効果的な学校運営を推進する。

2 構成員

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭及び養護教諭とする。

3 開催

定例会は、原則として週1回開催する。

4 招集

校長が招集し、その運営を管理する。

- 5 その他、必要な事項は、校長が定める。

第12 職員連絡会

1 目的

職員連絡会は、校長の補助機関として、次に掲げる事項のうち、校長が必要と認めるものを取り扱う。

- (1) 校長が学校の管理運営に関する方針等を周知すること。
- (2) 校長が校務に関する決定等を行うこと。

2 構成員

常勤の教職員。ただし、校長が認めた場合は他の職員も参加できる。

3 開催

原則として月1回開催する。

4 招集

校長が招集し、その運営を管理する。

5 司会

校長が選任する。

6 記録

校長が記録者を選任する。記録者は、連絡会の要旨を会議録として取りまとめ、連絡会終了後、直ちに議録を校長に提出し、連絡会の要旨が正確に記載されているかの確認を受けなければならない。

7 運営

- (1) 報告、意見聴取及び連絡に関する事項は、企画調整会議を経た上、事前に資料を添付し副校長に提出する。
- (2) 校長の意思決定に資するため、職員連絡会において、必要に応じて構成員の意向を聞くことはあるが、校長の意思決定を拘束するものではない。

第13 分掌組織図 (次頁に掲載)

第14 主幹会

1 目的

主幹会は、校長の学校経営計画に基づき、学校全体の業務に関する企画立案及び連絡調整、各分掌組織間の連絡調整、その他学校運営事項の検討等、円滑かつ効果的な学校運営を推進する。

2 構成員

校長、副校長、主幹教諭とする。

3 開催

定例会は、原則として週1回開催する。

4 招集

担当主幹が招集し、その事項を管理する。

- 5 その他、必要な事項は、校長が定める。

第15 人事

分掌組織を構成する人事については、東京都教育委員会の権限に属するもののほかは、校長が定める。

第16 予算

校内予算の編成等については、「東京都立学校の予算編成等に係る規程」に基づき、適切かつ

効率的な運営を図る。

第17 校内規定

校長は、この規程に基づき、その他の校内規定を定める。

第18 情報公開

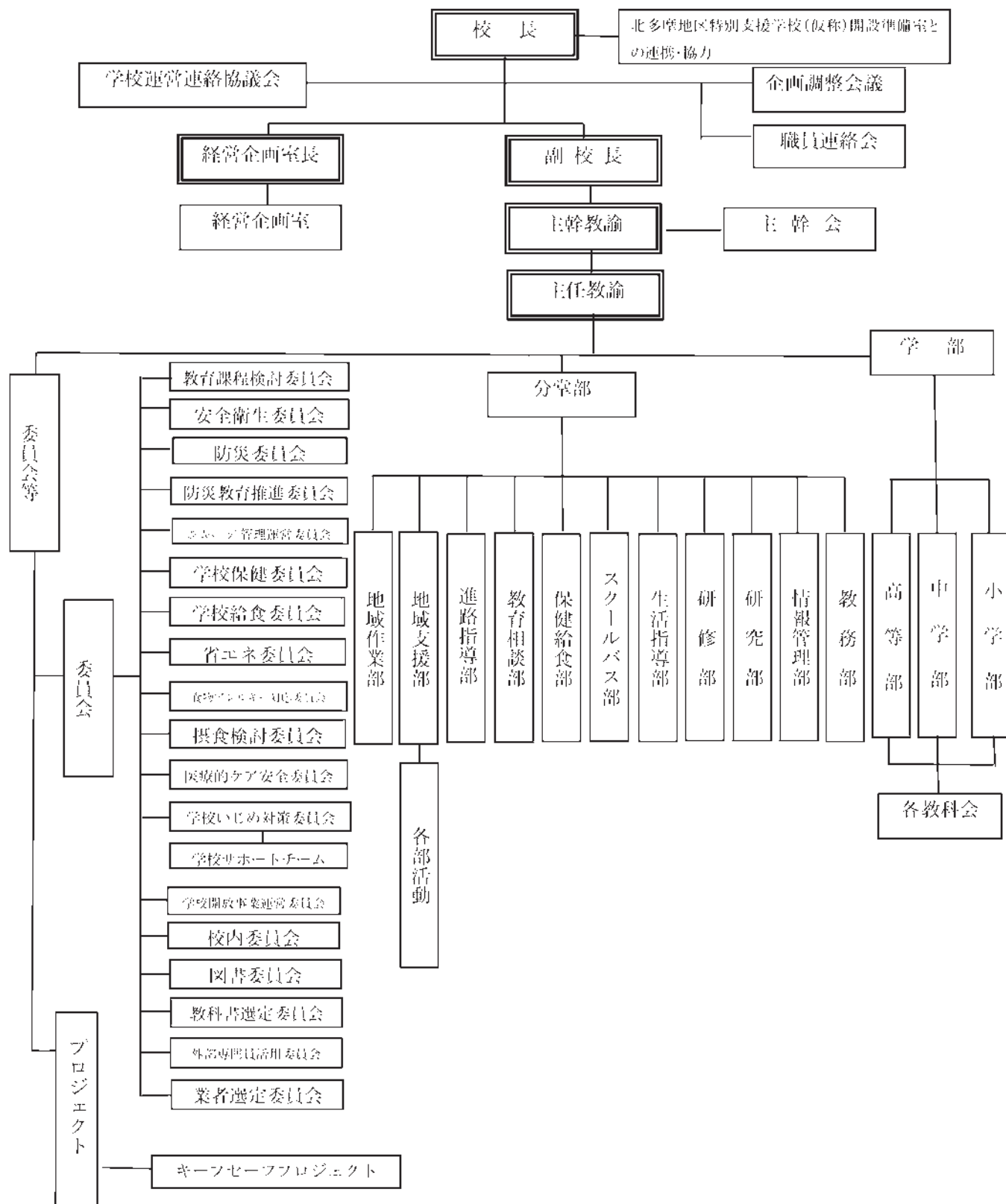
この規程及びその他の校内規定については、保護者及び都民等の閲覧に供することができるよう、整備する。

附則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。

第 13 組織図

組織図は、次のとおりとする。



2 予算概要

(単位:千円)

区 分			令和8年度 (予算)	令和7年度 (決算)	摘 要
歳 出	事 業 費				
	内 訳	管理運営にかかわる経費 (うち自律経営推進予算)	321,748 (30,511)	305,109 (26,251)	教材教具、建物維持管理(光熱水費、保守委託)、教職員旅費等、スクールバス運行
		教育指導研修に関わる経費	820	820	
		開放事業に関わる経費	239	239	公開講座、学校開放事業
		保健給食に関わる経費	34,234	37,657	保健及び給食関係
		計	357,041	343,825	
	歳入(特定財源)	使用料及び手数料	281	281	入学考査料、証明書交付等
	財産収入	751	751	生産品売払等	
	諸収入	107	107	光熱水費等	
	計	1,139	1,139		
差引一般財源			355,902	342,686	

※令和8年度(当年度)予算は、当初見込額もしくは配付額である。

Ⅶ 令和7年度 学校運営連絡協議会 実施報告

1 組織

(1) 都立羽村特別支援学校 学校運営連絡協議会 協議委員 (外部15名)

明星大学教育学部 教育学科 教授	島田 博祐 様
株式会社バソナハートフル 副社長 執行役員	白岩 忠道 様
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 人事部 T&G ソーシャルファーム	
東京サポートセンター長 チーフソーシャルパートナー	宮崎 家光 様
東京都就労支援アドバイザー	若杉 哲文 様
社会福祉法人 友愛学園児童部 施設長	石川 淳 様
瑞穂町障害者就労支援センター センター長	西出 英高 様
関哉法律事務所 弁護士	関哉 直人 様
あきる野司法書士事務所 司法書士	石井 寛昭 様
羽村市動物公園 園長	佐藤 新吾 様
UR羽村団地自治会 会長	鈴木 登美夫 様
西多摩保健所 保健対策課長	森田 徳子 様
羽村市立松林小学校 学校長	古瀬 義房 様
東京都立羽村高等学校 学校長	神谷 画歩 様
羽村特別支援学校 PTA 会長	海宝 達男 様 (～9月)
羽村特別支援学校 PTA 会長代行	西野 寛子 様 (10月～)
羽村特別支援学校 PTA 副会長	齋藤 静恵 様

(2) 協議委員 (内部11名)

東京都立羽村特別支援学校 校長	井上 一仁
東京都立羽村特別支援学校 副校長	平野 信治
東京都立羽村特別支援学校 副校長	有馬 宏子
東京都立羽村特別支援学校 経営企画室長	豊田 浩也
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭 (事務局)	田中 孝志郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	藤原 英二
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	三上 博史
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	阪下 香奈
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	結城 幸太郎
東京都立羽村特別支援学校 主任教諭	矢島 信吾
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	町田 淳之

(3) 評価委員 (6名)

明星大学 教育学部 教育学科 教授	島田 博祐 様
友愛学園児童部 施設長	石川 淳 様
東京都立羽村特別支援学校 PTA 会長	海宝 達男 様 (～9月)
東京都立羽村特別支援学校 PTA 副会長	齋藤 静恵 様 (10月～)
東京都立羽村特別支援学校 副校長	平野 信治
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭 (事務局)	田中 孝志郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	三上 博史

2 令和7年度学校運営連絡協議会の開催日時及び概要

第1回 令和7年6月17日(火) 10時00分から12時00分まで

(1) 授業見学 (2) 令和7年度 学校経営についての御意見

(3) 令和7年度 学校評価(案)についての御意見

※第1回は会議の前に30分間評価委員会を開催。

第2回 令和7年11月19日(水) 10時00分から12時00分まで

(1) 授業見学 (2) 令和7年度学校経営進捗状況の報告

(3) 学校評価の中間報告及び回収率等

※第2回は会議の後に30分間評価委員会を開催。

第3回 令和8年2月4日(水) 14時00分から16時00分まで

(1) 学校評価報告についての御意見 (2) 本校への提言

(3) 今年度の学校運営についての御意見

※第3回は会議の前に30分間評価委員会を開催。

2 学校運営連絡協議会による学校評価

※自由意見については、別紙報告書を参照

(1) 保護者アンケート

回収率

回答率\学部	小学部	中学部	高等部	全校
今年度	97.3% (181/186)	88.2% (97/110)	92.1% (209/227)	93.1% (487/523)
6年度	82.8%	79.5%	72.4%	78.3%
5年度	56.0%	53.9%	46.6%	52.2%

設問番号	設問	学部	保護者(回答数487)					
			4 はい そう思います	3 はい どちらかとい えそう思い ます	2 いいえ どちらかとい えそう思い ません	1 いいえ そう思いま せん	0 わかりま せん	無回答
1	がっこう あんしん あんぜん きょういくかんきょう 学校は、安心・安全な教育環境の せいび つと 整備に努めている。	小	119	60	1	0	1	0
			66%	33%	0.6%	0%	0.6%	0%
		中	65	30	1	0	1	0
			67%	31%	1.0%	0%	1.0%	0%
		高	142	62	2	0	3	0
			68%	30%	1.0%	0%	1.4%	0%
2	きょうしゅくいんぜんいん つね じんけんかんかく みが 教職員全員が、常に人権感覚を磨 じどう せいと じんけん そんちょう たい き、児童・生徒の人権を尊重し、体 ばつ ふてきせつ しどう 罰、不適切な指導、ハラスメントが きょういく じっせん ない教育を実践している。	小	107	63	1	2	8	0
			59%	35%	0.6%	1.1%	4.4%	0%
		中	53	35	1	1	7	0
			55%	36%	1.0%	1.0%	7.2%	0%
		高	111	85	2	0	11	0
			53%	41%	1.0%	0%	5.3%	0%
3	がっこう じどう せいと けんこう たいせつ 学校は、児童・生徒の健康を大切 にしている。	小	135	42	2	0	2	0
			75%	23%	1.1%	0%	1.1%	0%
		中	65	28	2	1	1	0
			67%	29%	2.1%	1.0%	1.0%	0%
		高	141	58	4	1	5	0
			67%	28%	1.9%	0%	2.4%	0%

4	がっこう こじんじょうほう ほご げんしゆ 学校は、個人情報の保護を厳守している。	小	131	44	0	0	6	0
			72%	24%	0%	0%	3.3%	0%
		中	67	26	0	0	4	0
			69%	27%	0%	0%	4.1%	0%
		高	145	55	2	0	7	0
			69%	26%	1.0%	0%	3.3%	0%
5	がっこう ふあん なや か 学校は、不安や悩みについて、家 てい れんけい そうきかいけつ みぜんぼうし 庭と連携し早期解決や未然防止に とり く 取り組んでいる。	小	126	48	5	0	2	0
			70%	27%	2.8%	0%	1.1%	0%
		中	55	35	4	0	3	0
			57%	36%	4.1%	0%	3.1%	0%
		高	126	71	3	1	8	0
			60%	34%	1.4%	0%	3.8%	0%
6	がっこう かてい じょうほうきょうゆう れんけい 学校は、家庭との情報共有・連携を はか 図っている。	小	139	38	3	0	1	0
			77%	21%	1.7%	0%	0.6%	0%
		中	61	34	2	0	0	0
			63%	35%	2.1%	0%	0%	0%
		高	137	65	3	0	4	0
			66%	31%	1.4%	0%	1.9%	0%
7	がっこう ぎょうじ てきせつ ないよう じっし 学校は、行事を適切な内容で実施 している。	小	126	46	7	0	2	0
			70%	25%	3.9%	0%	1.1%	0%
		中	61	31	2	0	3	0
			63%	32%	2.1%	0%	3.1%	0%
		高	136	66	2	3	2	0
			65%	32%	1.0%	1.4%	1.0%	0%
8	がっこう こべつしどうけいかく がっこうせいかつ 学校は、個別指導計画、学校生活 しえん こべつ きょういくしえんけいかく 支援シート(個別の教育支援計画) とう もと てきせつ しどう じっし 等に基づいた適切な指導を実施し ている。	小	141	33	1	0	6	0
			78%	18%	0.6%	0%	3.3%	0%
		中	67	27	0	0	3	0
			69%	28%	0%	0%	3.1%	0%
		高	134	67	2	1	5	0
			64%	32%	1.0%	0.5%	2.4%	0%

9	がっこう がくしゅうかんきょう せいび 学校は、学習環境を整備している。	小	99	54	17	6	5	0
			55%	30%	9.4%	3.3%	2.8%	0%
		中	53	33	5	4	2	0
			55%	34%	5.2%	4.1%	2.1%	0%
		高	114	75	11	0	9	0
			55%	36%	5.3%	0%	4.3%	0%
10	がっこう きき かつよう がくしゅうかつ 学校は、ICT機器を活用した学習活動が充実している。	小	49	57	7	6	62	0
			27%	31%	3.9%	3.3%	34%	0%
		中	43	35	3	0	16	0
			44%	36%	3.1%	0%	16%	0%
		高	83	88	10	2	26	0
			40%	42%	4.8%	1.0%	12%	0%
11	がっこう ちいきしげん かつよう じゅぎょう 学校は、地域資源を活用した授業実践を行っている。	小	95	56	6	0	24	0
			52%	31%	3.3%	0%	13%	0%
		中	55	29	2	1	10	0
			57%	30%	2.1%	1.0%	10%	0%
		高	105	76	4	0	24	0
			50%	36%	1.9%	0%	11%	0%
12	がっこう しんろじょうほう ていきょう じっし 学校は、進路情報の提供を実施している。	小	90	54	3	0	34	0
			50%	30%	1.7%	0%	19%	0%
		中	58	32	0	1	6	0
			60%	33%	0%	1.0%	6.2%	0%
		高	125	66	11	0	7	0
			60%	32%	5.3%	0%	3.3%	0%
13	がっこう こうとうぶそつぎょうご みこ ひと 学校は、高等部卒業後を見越し一人一人に応じた適切な進路指導、 しんろそうだん じっし 進路相談を実施している。	小	45	49	3	0	84	0
			25%	27%	1.7%	0%	46%	0%
		中	44	33	5	0	15	0
			45%	34%	5.2%	0%	15%	0%
		高	112	75	11	1	10	0
			54%	36%	5.3%	0%	4.8%	0%

14	がっこう きょうしつ 学校は、教職員のライフ・ワークバ ランスの実現を図っている。	小	49	52	3	2	75	0
			27%	29%	1.7%	1.1%	41%	0%
		中	41	23	2	0	31	0
			42%	24%	2.1%	0%	32%	0%
		高	82	70	9	0	48	0
			39%	33%	4.3%	0%	23%	0%

今回の学校評価アンケートは、回収率が93.1%となり大変多くの保護者の方々の協力を得ることができた。本校の学校経営に関心を寄せていただいていることの表れであり、いただいた貴重な御意見は、次年度に確実に生かしていく。

(2) 放課後等デイサービスアンケート

回答率

回答率	放課後等デイサービス
今年度	88.6%
6年度	66.7%

設問番号	設問	放課後等デイサービス(回答数47)				
		4 はい そう思います	3 はい どちらかとい えそう思い ます	2 いいえ どちらかとい えそう思い ません	1 いいえ そう思いま せん	0 わかりま せん
1	がっこう じどう せいと ひきわ さい あんぜんかく 学校は、児童・生徒を引渡す際に、安全確 保を行っていますか。	28 60%	16 34%	2 4.3%	0 0%	1 2.1%
2	がっこう じどう せいと ひきわ さい じょうほうきょう 学校は、児童・生徒を引渡す際に、情報共 有ができていますか。	15 32%	24 51%	5 11%	1 2.1%	2 4.3%
3	がっこう こうないちゅうしゃじょう りょう 学校は校内駐車場利用のルールについて 情報発信をしていますか。	26 55%	15 32%	3 6.4%	1 2.1%	2 4.3%
4	がっこう ちゅうしゃじょう りょうほうほう 学校は、キリンさん駐車場の利用方法につ いて情報発信をしていますか。	25 53%	14 30%	3 6.4%	2 4.3%	3 6.4%
5	がっこう もんぴ せじょうとう じょう 学校は門扉の施錠等のルールについて情 報発信をしていますか。	22 47%	16 34%	4 8.5%	2 4.3%	3 6.4%

6	とうろく マチコミメールに登録していますか(※1か こた 4でお答えください。)	36			11	
		77%			23%	

今回の学校評価アンケートは、回収率が向上しより多くの放課後等デイサービスから意見をいただくことができた。昨年度より設問を増やし、情報共有や情報発信を訪ねる内容となっている。アンケートの全ての設問において「4 はい、そう思います」、「3 はい、どちらかといえばそう思います」の肯定的な回答が85.6%となった。

(3) 教職員アンケート

回答率	
回答率	教員
今年度	96.7%

設問番号	設問	教員(回答数180)			
		4 はい そう思います	3 はい どちらかとい えはそう思 います	2 いいえ どちらかとい えはそう思 いません	1 いいえ そう思 いません
1	わたし つね じんけんかんかく みが じどう せいと じんけん そんなちよう たいばつ 私は、常に人権感覚を磨き、児童・生徒の人権を尊重し、体罰、 ふてきせつ しどう きょういく じっせん 不適切な指導、ハラスメントがない教育を実践している。	157	22	1	0
		87%	12%	0.6%	0%
2	わたし ふくむ げんせい つと ふくむきりつ じゅんしゆ 私は、サービスの厳正に努め、サービス規律を遵守している。	163	17	0	0
		91%	9%	0%	0%
3	わたし じどう せいとじようほう がくねん とう きょうゆう じどうせいと ひとり ひとり 私は児童生徒情報を学年クラス等で共有し児童生徒一人一人 こうとうぶそつぎようご みこ てきせつ しえん しどう おこ に高等部卒業後を見越した適切な支援、指導を行っている。	145	35	0	0
		81%	19%	0%	0%
4	わたし じんけん はいりよ じどう せいと たい づ じっせん 私は、人権に配慮し児童・生徒に対し「さん」付けを実践してい る。	135	42	3	0
		75%	23%	1.7%	0%
5	わたし きょういく してん ちいきしげん かつよう じゅぎょうじっ 私は、キャリア教育の視点を持ち、地域資源を活用した授業実 せん おこな 践を行っている。	97	72	11	0
		54%	40%	6%	0%

6	わたし がいふせんもんかとう じょげん かつよう しどう じゅぎょうかいぜん はか 私は、外部専門員等の助言を活用し、指導や授業改善を図り、 がくねん きょうゆう 学年で共有している。	134	45	0	0
		74%	25%	0%	0%
7	わたし いくせい はしら ちしき およ ぎのう しこうりょく はんだんりょく 私は、育成すべき3つの柱(「知識及び技能」「思考力・判断力・ ひょうげんりょく まな む ちから にんげんせい しゅたいてき たいわてき 表現力など」「学びに向かう力、人間性など」と主体的・対話的 ふか まな してん じゅうし じゅぎょう じっせん 深い学びの視点を重視した授業を実践している。	112	67	1	0
		62%	37%	0.6%	0%
8	わたし きょうざい とう かつよう ここ あ きょうざい 私は、教材ライブラリー等を活用しつつ、個々に合った教材の さくせい こうかてき かつよう 作成と効果的な活用を行っている。	88	76	14	2
		49%	42%	7.8%	1.1%
9	わたし もと こんきょ しどう じっせん 私は、アセスメントに基づいた根拠のある指導を実践している。	110	69	1	0
		61%	38%	0.6%	0%
10	わたし ほごしゃ じょうほうきょうゆう れんけい はか 私は、保護者との情報共有・連携を図っている。	147	33	0	0
		82%	18%	0%	0%
11	わたし こうとうぶそつぎょうご みこ ひとり ひとり おう てきせつ 私は、高等部卒業後を見越し、一人一人に応じた適切なキャリ きょういく しんろしどう しんろそうだん じっし ア教育(進路指導)、進路相談を実施している。	103	67	9	1
		57%	37%	5.0%	0.6%
12	わたし しんろ かん じょうほうていきょう じっし 私は、進路に関する情報提供を実施している。	87	67	26	0
		48%	37%	14%	0%
13	わたし こども ほうこうせい じこ しょく 私は、「すべては子供たちのために」の方向性をもち、自己の職 せき まつと しゅたいてき そしきてき がっこうけいえい さんかく 責を全うし、主体的に、組織的に学校運営に参画している。	131	48	1	0
		73%	27%	0.6%	0%

14	ねんじけんたいしょうしゃ わたし なか そしきてき けんしゅう (年次研対象者)私は、チームはむとくの中で、組織的に研修を おこ 行っている。	98	72	9	1
	ねんじけんたいしょうしゃ以外 わたし わかてきょういんとう いくせい なか (年次研対象者以外)私は、若手教員等の育成をチームの中で そしきてき おこ 組織的に行っている。	54%	40%	5.0%	0.6%
15	わたし そくそう おう やくわり りかい がっこううんえい さんかく 私は、職層に応じた役割を理解し、学校運営に参画している。	128	49	3	0
		71%	27%	1.7%	0%
16	わたし じつげん はか 私は、ライフ・ワークバランスの実現を図っている。	93	67	17	3
		52%	37%	9.4%	1.7%

教職員アンケートの設問は、全て「私」を主語とする形とした。学校の取組みについて個々の教職員から意見を聞くアンケートは、別途実施（学部・分掌評価アンケート）している。教職員アンケートの全ての設問において、「4 はい、そう思います」、「3 はい、どちらかといえばそう思います」の肯定的な回答が9.6%となった。「2 いいえ、どちらかといえばそう思いません」、「1 いいえ、そう思いません」の回答が多かったのが、設問12「私は、進路に関する情報提供を実施している。」の1.4%、設問16「私は、ライフ・ワークバランスの実現を図っている。」の1.1%であった。

ライフ・ワークバランスについては、引き続き、保護者の皆様や地域の方々の御理解・御協力も得ながら、教職員の働き方改革の推進を図りながら、教員一人一人が、自己の職責を全うし「すべては子供たちのために」の方向性の中で主体的・組織的に学校運営に参画できるように取り組んでいく。

(4) 高等部生徒アンケート

[アンケート回収率]

＜ 高1 ＞	在籍人数：78名	回収人数：73名	アンケート回収率＝93.5%
＜ 高2 ＞	在籍人数：82名	回収人数：68名	アンケート回収率＝82.9%
＜ 高3 ＞	在籍人数：67名	回収人数：58名	アンケート回収率＝86.5%
合計	227名	199名	87.6%

[アンケート方法]

用紙によるアンケート（ホームルーム時に配布し、教室にて実施。主幹教諭が廊下で回収した）
Formsによるアンケート（1人一台端末を活用し、教室にて実施。） 2つの方法を用いた。

1. 学校は楽しいですか? (※回答数 高1:73 高2:68 高3:58 合計199)

	高1	高2	高3	全体(199名)
① 楽しい	55名 75.3%	53名 77.9%	39名 67.2%	147名 73.8%
② どちらでもない	4名 5.4%	7名 10.2%	7名 12%	18名 9%
③ 楽しくない	5名 6.8%	2名 2.9%	4名 6.8%	11名 5.5%
④ わからない	2名 2.7%	4名 5.8%	4名 6.8%	10名 5%
⑤ 回答不可	7名 9.5%	2名 2.9%	4名 6.8%	13名 6.5%

2. 学校で楽しいことはどんなことですか? (※「楽しい」と回答した生徒のみ回答)

	高1	高2	高3		高1	高2	高3
① 授業	19	31	23	⑤ 休み時間	25	16	12
② 行事	11	14	17	⑥ 友達や先輩・後輩と話す	24	24	13
③ 部活動	19	15	13	⑦ 先生と話す	10	20	5
④ 給食	26	19	18	⑧ その他	0	1	1

その他(ユーチューブ)(クラクション)

3. 学校で楽しくないことはどんなことですか? (※「楽しくない」と回答した生徒のみ回答)

	高1	高2	高3		高1	高2	高3
① 授業	8	3	3	⑤ 休み時間	2	1	1
② 行事	9	5	1	⑥ 友達や先輩・後輩と話す	2	3	1
③ 部活動	2	2	1	⑦ 先生と話す	5	2	0
④ 給食	6	3	1	⑧ その他	0	0	1

その他(じかん)

4. 好きな授業は何ですか?

	高1	高2	高3		高1	高2	高3
① 国語	14	17	14	⑨ 保健体育	25	28	21
② 数学	18	15	12	⑩ 家庭	10	7	17
③ 理科	2	9	9	⑪ 職業	6	1	3
④ 社会	10	10	7	⑫ 作業学習	14	18	14
⑤ 外国語	7	11	9	⑬ 特別教室	7	4	1
⑥ 情報	1	0	2	⑭ 生活単元学習	4	3	1
⑦ 音楽	25	28	17	⑮ 総合的な探究の時間	1	6	1
⑧ 美術	23	16	16	⑯ 日常生活	4	0	3

5. 好きではない授業は何ですか?

	高1	高2	高3		高1	高2	高3
① 国語	15	12	8	⑨ 保健体育	5	7	8
② 数学	19	12	14	⑩ 家庭	14	6	3
③ 理科	8	10	8	⑪ 職業	6	4	4
④ 社会	4	5	4	⑫ 作業学習	7	8	9
⑤ 外国語	10	6	9	⑬ 特別教室	4	2	2
⑥ 情報	4	3	1	⑭ 生活単元学習	2	3	1
⑦ 音楽	12	7	9	⑮ 総合的な探究の時間	2	5	3
⑧ 美術	12	4	3	⑯ 日常生活	2	4	1

6. 学校生活以外で好きなこと、やっていることは何ですか？

《高1》

・絵を描くこと（9） ・物作ること（3） ・イラスト描くこと ・好きなアイドルのテレビを見ること ・漢字の練習 ・ゲーム（11） ・バスケ ・ダンス ・ビーファースト ・デイサービス ・お絵描き ・彼女と過ごせること ・野球 ・空き箱工作 ・レゴ ・スマホ ・彼女とデートや一緒に居ること ・テレビを見ること ・漫画 ・映画 ・読書 ・音楽鑑賞 ・アニメ鑑賞（2） ・調べ物 ・料理 ・運動 ・友達と話すのが楽しい ・スポーツ ・放デイ ・お家にいる時間 ・ピアノ ・体作り ・あかり ・寝ること ・ぬいぐるみ作り ・You tube（3） ・パイオレット ・曲をきくこと（2） ・筋トレ運動 ・勉強 ・サッカー ・野球を見ること ・タブレット ・クラクション ・ごはん ・エレキギター ・ヤンキース ・体育 ・刺繍 ・友達と遊ぶこと ・話したりすること ・うた ・野球 ・ボクシング ・バイクの動画を見ること ・宿題 ・食事

《高2》

・絵を描く（8） ・えほん ・アイスを食べる ・学校のみんなともっと仲良くする ・パソコンでコピーを撮る ・電車をみる ・アニメ（2） ・ゲーム（8） ・曲を聴く（2） ・せんたくもの ・あらいもの ・ドラマを見る ・テレビ（2） ・DVD ・パズル ・アプリゲーム ・YouTube（5） ・お皿洗 ・動画制作 ・川崎に行く事 ・サッカー（2） ・作曲 ・デイサービスで使用する BGM の制作 ・スマホ ・小説作ること ・寝ること ・技術研究 ・親の手伝い ・読書（2） ・推し活 ・友達と遊ぶ事 ・民謡を習っている ・グループホームにショートで通っている ・映画を見る（2） ・楽器演奏 ・筋トレ ・友達と会うこと ・友達とゲームをする事 ・家で公園の回りを走ること ・ダンスをすること（2） ・アニメーション作り（3D、コマ漫画も含む） ・友達と腕相撲 ・友達と話すこと ・アークナイツ ・プラモデル ・カラオケ ・温泉めぐり ・音楽を聴く（2） ・お墓参り ・ドライブ（2） ・コロコロコミックを読む ・高校野球を見る ・大相撲のおしをTVで応援する ・ねてる ・トワイスを見る ・ピアノ ・地図

《高3》

・ゲーム（8） ・祭り ・お囃子 ・和太鼓 ・友達とゲームとバドミントンすること ・バドミントン ・ピアノ ・ヴァイオリン ・自分の趣味(音楽鑑賞、アニメ、映画・ミュージカル鑑賞、ぬいぐるみ集め、ドライブ、ショッピング、スマホ、読書) ・アニメやドラマを観る ・お買い物（2） ・読書（2） ・ランニング ・家で誕生日に貰ったNゲージのSLを見るのが楽しい ・自分のワーク時間を楽しむ ・モンハン ・地雷系 ・サブカル系 ・インプレッサ ・バイク ・拳銃 ・マフィア ・休日の時は鉄道が好きなのでYouTubeで電車の動画を見ている ・荒野行動って言うシューティングゲーム ・地図 ・漢字 ・外国の言葉 ・ジオラマ ・趣味 ・ARK ・カニ飼育 ・運動（2） ・YouTubeで鉄道の動画を見る ・ぜんぶぜんぶ ・DVD ・おうちでゆっくり ・ユーチューブを見る ・本を読む ・音楽番組を見る ・マラソン ・ダンス（2） ・美術 ・音楽 ・ダムを見る ・デイサービス ・ピューロラン

ドにおでかけ ・サッカー ・フライングディスク ・プラレール ・桃太郎電鉄 ・えびとり ・つり
 ・カラオケ ・ハードオフに行く ・プール ・ドライブ ・滑り台 ・音楽を聴く ・アニメ ・ユー
 チューブ ・手伝い ・放デイ(2) ・アイパッド ・ミュージック ・ライン ・せんたくもの ・
 スマホで音楽をきく ・ジム ・サーフィン ・フラダンス ・はいしんライブ ・ほのかのたのし
 い ・きゅうけいするのがたのしい ・お家でごはんをたべること ・わくわくがたのしい ・ぽっぽも
 たのしい ・家族ででかける(イオンモール、プリクラ) ・カップラーメン ・部屋で一人で笑うこと

7. 学校生活以外でやっていることで、社会人になってもつづけたいことは何ですか？

《高1》 ・絵本作家をやる事 ・情報 ・家族の生活をしたい ・ゲーム(4) ・生き物の観察 ・ダンス ・ ビーファースト ・お絵描き(6) ・物作ること ・英語喋ること ・野球応援 ・スポーツ ・今の 彼女と一緒に居たい ・買い物すること ・旅 ・読書 ・音楽鑑賞 ・運動 ・物作り ・料理 ・ア ニメ鑑賞 ・調べ物 ・勉強 ・仕事 ・サッカー(2) ・楽しく過ごす(2) ・体作り ・寝る ・ You tube(2) ・早寝早起き ・曲をきくこと ・勉強と漢字 ・あいさつ ・タブレット ・ヤンキ ースのメンバーをおぼえたい ・お料理 ・お皿洗い ・話を聞く ・コツコツやる努力です ・野球 ・ 忍玉乱太郎 ・ボクシング ・バイク鑑賞 ・タブレット動画 ・食事
《高2》 ・絵描くこと(5) ・おながく ・ぼきん ・お手伝い ・電車をみる ・洗濯物 ・しせい ・たい ど ・本を読み続けたい ・体力をつけること ・料理 ・お皿洗い ・作業 ・動画制作 ・合気道 ・ やせる ・サッカー ・作曲 ・曲のアップロード ・スポーツ ・ゲーム(2) ・趣味 ・読書(2) ・ 推し活 ・仕事を続ける事です ・グループホームに泊まること ・筋トレ ・曲を聴く事 ・あいさつ ・ 暴言言われても受け流す力を身につけたい ・友達を大切にすること ・どんな時も笑顔でいる ・アニメー ション製作 ・ゲーム作り ・丁寧口調 ・話を聞くこと ・カラオケ ・音楽を聴く ・映画を見る ・ YouTube(2) ・音楽を聴く ・テレビを見る ・お墓参り ・ドライブ ・イラスト描く ・まんが家 ヘファンレターを描く ・ダンス
《高3》 ・お囃子 ・和太鼓 ・バドミントンすること ・漢検 ・ピアノ ・ヴァイオリン ・料理 ・お小遣 いの貯金 ・ご飯を作る ・日本史の勉強 ・細かい作業を続けたい ・自分が安心して楽しい生活を過 ぎす為にやりたいです ・モンハン ・鉄道が好きなので写真を撮ったり乗ったりするのが好きなので社会 人になっても続けたいです ・地図を見る ・気持ち ・カニ飼育 ・運動 ・親孝行 ・貯金 ・健康 ・ 鉄道の動画を見る ・生活 ・ぞうさん ・アイフォン ・ことばづかいがんばります ・時計をよめる ようにする ・さんぽ ・おでかけ(3) ・運動 ・散歩 ・ピューロランドにおでかけ ・すべて ・ 桃太郎電鉄 ・えびとり ・つり ・かいもの ・ダンス ・カラオケ ・ハードオフに行く ・プール (2) ・ドライブ ・滑り台 ・サッカー ・移動支援 ・働く ・ぽかぽかハート ・スマホで音楽 をきく ・いいあさファーム行くこと ・買い物 ・実習 ・スポーツ ・ペンきょう

8. 社会人になるために、どんなことを勉強したいですか？また、身につけたいですか？

	高1	高2	高3		高1	高2	高3
① 読み・書きする力	15	11	7	⑨ 体力	13	13	17
② 買い物	18	13	7	⑩ 交際について	7	6	5
③ 交通機関	10	9	11	⑪ 時間を守る	8	3	10
④ パソコン	16	14	9	⑫ 話を聞く力	4	4	6
⑤ あいさつ	18	23	16	⑬ ルールを守る	3	6	3

⑥ 人付き合い	14	10	10	⑭ 健康	9	8	11
⑦ 調理・縫い物	15	8	7	⑮ 言葉づかい	5	5	5
⑧ 作業力	8	13	5	⑯ その他	4	3	4

その他（体調・体重管理）、（課題）

9. 悩みがあったときに相談したい先生はいますか？

（※回答数 高1：73 高2：68 高3：58）

	高1	高2	高3	全体（199）
① いる	31	44	29	104
	42.4%	64.7%	50%	52.2%
② いない	19	13	14	46
	26%	19.1%	24.1%	23.1%
③ わからない	16	5	7	28
	21.9%	7.3%	12%	14%
④ 回答不可	7	6	8	21
	9.5%	8.8%	13.7%	10.5%

10. みなさんに暴力をふるう先生はいますか？

（※回答数 高1：73 高2：68 高3：58）

	高1	高2	高3	全体（199）
① いる	0	0	0	0
	0%	0%	0%	0%
② いない	59	61	44	164
	80.8%	89.7%	75.8%	82.4%
③ わからない	6	1	8	15
	8.2%	1.4%	13.7%	7.5%
④ 回答不可	8	6	6	20
	10.9%	8.8%	10.3%	10%

11. みなさんにらんぼうな言葉をつかう先生はいますか？

（※回答数 高1：73 高2：68 高3：58）

	高1	高2	高3	全体（199）
① いる	0	2	0	2
	0%	2.9%	0%	1%
② いない	54	57	43	154
	73.9%	83.8%	74.1%	77.3%
③ わからない	10	2	9	21
	13.6%	2.9%	15.5%	10.5%
④ 回答不可	9	7	6	22
	12.3%	10.2%	10.3%	11%

12. みなさんの意見を無視したり、十分に聞いてくれない先生はいますか？

(※回答数 高1:73 高2:68 高3:58)

	高1	高2	高3	全体(199)
③ いる	0	1	0	1
	0%	1.4%	0%	0.5%
④ いない	52	54	40	146
	71.2%	79.4%	68.9%	73.3%
③ わからない	13	6	11	30
	17.8%	8.8%	18.9%	15%
④ 回答不可	8	7	7	22
	10.9%	10.2%	12%	11%

【まとめ】

「1. 学校は楽しいですか？」に対し、「楽しい」と回答した生徒は73.8%であった。「2. 学校で楽しいことはどんなことですか？」に対し、「①授業」、「⑥友達や先輩・後輩と話す」、「④給食」が上位となった。「3. 好きな授業は何ですか？」に対し「⑨保健体育」、「⑧美術」、「⑦音楽」が上位となり、実技系の授業が好きな生徒が多い結果となった。「4. 好きではない授業は何ですか？」に対し、「②数学」、「①国語」、「⑦音楽」が上位となった。「7. 社会人になるためには、どんなことを勉強したいですか？また、身につけたいですか？」に対し、「⑤あいさつ」、「②体力」、「④パソコン」が上位となった。社会人になるために「あいさつ」が大切と捉えている生徒が多いことが分かり、日頃の学習の成果を確認できるよい機会となった。「8. 悩みがあったときに相談したい先生はいますか？」に対し、「①いる」が52.2%、「②いない」が23.1%となった。先生に限らず、悩みがあったときや困ったときに相談できる大人や窓口の周知を行い、改善を図っていく。

「11. みなさんにらんぼうな言葉をつかう先生はいますか？」に対し、「①いる」に2名の回答があった。この2名について聞き取りを実施したところ、「強い口調」での教員の関わりが気になり今回の回答となったことが確認できた。当該教員にも聞き取りを実施した。生徒との関わりの中で、関係を良好にしようとして大きな声を出したり、ユーモアを交えて話し掛けたことが、らんぼうな言葉との認識になったと思われる。言葉掛けや支援の仕方については一人一人を尊重しながら行うことを確認した。また、全教職員にも周知を行った。「12. みなさんの意見を無視したり、十分に聞いてくれない先生はいますか？」に対し、「①いる」に1名の回答があった。聞き取りを実施したところ、教員へ相談する際、最後まで話を聞いてもらえず、途中で遮られ、助言されることがあり、今回の回答となったことが分かった。全ての教職員に対し、児童・生徒からの相談や訴えについては、傾聴し、こちらに伝えたい思いを十分に受け止めることを周知した。

3 学校運営連絡協議会 評価委員会でまとめられた本校への提言

●はじめに

今年度の学校評価アンケートは、93%という高い回収率と肯定的な回答が89%となった。このことは、保護者からの関心の高さと学校の取組みについて評価されていることの表れである。尊重を意識しながら「安心・安全な学校」を目指し取り組んだ成果と考えられる。信頼回復に向け、一人一人の教職員が真摯に教育活動に励まれたことに敬意を表したい。

今回の学校評価の結果に満足することなく、学校に寄せられる意見に耳を傾け、今後も家庭・地域との連携を大切にされた学校運営を期待する。学校評価の内容を踏まえ、学校運営協議会で検討された提言を以下に述べる。

●令和8年度に向けた提言 項目は学校評価及び本校の学校経営計画に基づく

○学校評価アンケート

提言

- ・保護者アンケートの質問項目について、「わからない」回答が多いものについては、「質問自体に問題がある」、「評価の判断材料がない」、「その他に問題がある」等を検証し、「わからない」の回答を減らす。
- ・生徒アンケートの質問項目については、目的を明確にし、その目的の達成に即した質問を内容にする。
- ・生徒へのアンケートについては、障害の程度が重度であっても自ら選択し回答ができるような工夫があるとよい。

○学校経営計画

(1) 人権尊重の精神で安心、環境整備を徹底し安全な学校（セーフティ・スクール）

提言

- ・「安心安全」と「人権意識向上」の継続的な取り組み

人権意識の尊重は、学校として定めた人権週間の取り組みを引き続きお願いしたい。授業見学からも、一人一人の教職員が人権感覚を磨く努力を重ねていることが分かるため、今後の教育活動に生かすことを期待する。安全面では、駐車場の横断歩道設置の対応など、学校としての前向きな姿勢を感じることができる。学校評価の内容を丁寧に精査しながら、連携を進めてほしい。

(2) 多岐にわたる特別支援教育の専門性を高める学校（スペシャリティ・スクール）

提言

- ・児童・生徒の実態に即した適切な指導の展開
- ・学校卒業後に向けた各学部段階での日常生活及び進路指導の焦点化
- ・各学部間における指導の連携と移行支援

進路指導については、継続的な進路指導の理解への取り組みが学校評価に反映されて来ている。各学部のライフキャリア・ワークキャリア双方の視点をより明確にし、学校全体での縦の連携、系統性を積み上げてほしい。

(3) 保護者や地域と協働する学校（コラボレーション・スクール）

提言

- ・更なる地域資源の活用とその情報発信
- ・近隣の小・中・高との活動・行事連携
- ・放課後等デイサービスへの丁寧な引継ぎ

地域資源を活用しながら余暇活動の選択肢を示すことができている。学校を拠点としながらも地域資源と連携して余暇活動を活発にしていく取り組みについて積極的な情報発信を期待したい。今後も継続して、近隣の小・中・高との連携を行い地域社会での障害理解や信頼関係の構築を進めほしい。放課後等デイサービスに児童・生徒を引渡す際は、健康状態の異変や普段と異なる様子が見られる場合はより丁寧な情報共有（引継ぎ）をお願いしたい。

(4) デジタルを活用した教育活動を充実する学校（スマート・スクール）

提言

- ・ICT 機器及び付随するデジタルソフトウェアを活用した授業についての積極的な情報発信
- ・教職員全体の ICT・デジタル活用スキル向上の底上げ

今年度より学校経営計画の柱に据え、デジタル推進の研究を柱に、デジタルの活用促進については一定の効果が伺えた。ICT 全般は便利なツールである一方、「どう使えるか」の検証・計画を踏まえたうえで、学習指導要領や年間指導計画を実施していくことに効果的であることが重要と考える。個別指導計画等での共有、面談等での積極的な情報共有など、効果をもたらす方法はいくつか考えられるため、せっかくの良い取り組みをより発信できていけると良い。

児童生徒はもちろんのこと、教職員のデジタル活用・リテラシー向上のためには、外部の専門家や研修の計画的な構築を望む。

4 「学校がよかった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 15人

(2) 学校がよかったと答えた協議委員の人数

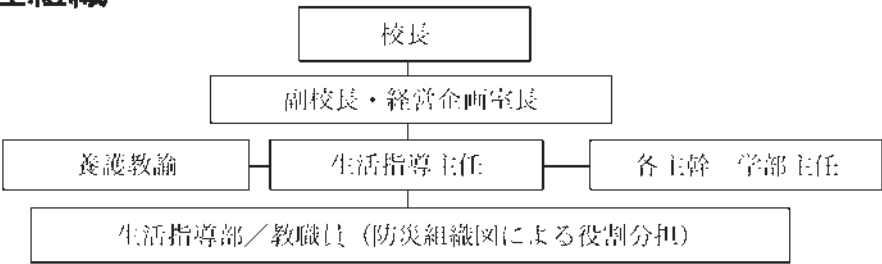
そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
8						7

5 その他

学校評価のアンケートの項目、提示の仕方等については、来年度の第1回学校運営連絡協議会で協議を行い、スムーズに学校評価を進め学校経営に生かしていく。

VIII 学校防災計画と危機管理

1 危機管理組織



※災害発生時は「羽村特別支援学校危機管理計画」に基づき、迅速に対応する。

2 防災組織

係	責任者	任 務
本部	校長	総指揮
	副校長	火災状況の確認、施設の破損箇所確認、避難方法・場所の指示、本部位置設定、児童・生徒の安全確認
	経営企画室長	外部機関への連絡・確認
	生活指導主任	
通報	副校長	校内通報
	経営企画室長	外部機関への連絡・確認、本部連絡
施設点検・消火	生活指導部	初期消火（消火栓、消火器を操作する） 消火器具の随時点検、器具操作の熟練 施設の破損箇所の破損箇所確認
搜索	小学部 中学部 高等部	担当クラスの避難後、本部に待機 不明者の報告があれば担任とともに搜索
非常持出	職員室（副校長） 校長室（副校長） 経営企画室（経営企画室職員）	非常持ち出し書類及び重要物品の安全確認 所在位置確認・表示 本部報告
防護措置	1～3階 （経営企画室職員）	出火合図後、電源遮断、ガス元栓閉鎖、日常の点検 非常口の障害物除去（非常口の整理・開閉点検）
救護	養護教諭	応急処置、救急車への通報、臨時救護所の設置、本部報告 救急薬品整備・保管
児童・生徒の避難誘導管理	各学部学級担任	安全かつ敏速に児童・生徒を避難場所に誘導 避難時及び避難場所に到着後、児童・生徒数を確認し、本部に連絡 日常的に安全誘導のための指導を心がけ、集団移動の指導を実践

《火災発生時の初期初動非常措置》

- 発見者は、あわてずに大声で周囲に火事を知らせる、校内電話による全校放送（内線 911）、付近の非常ベルを押し、経営企画室にも連絡する。出火場所付近の職員は児童・生徒の安全を確保した後、速やかに初期消火に当たる。
- 通報係は、校内全員に緊急放送・非常ベル・連呼、消防署（tel:119）に通報する。
- 各学級、学習担当教員、その他の職員は、警報または号令によって安全かつ迅速に児童・生徒を避難場所へ誘導する。

3 非常災害時の対応

(1) 非常災害時の避難・誘導

- ◆教職員は、児童・生徒の安全確保を優先し、非常時に運営される組織での役割を果たす。
- ◆災害は、時を選ばない。当然、学習グループ等に分かれている場面での避難誘導もある。従って常に担当授業の児童・生徒の出席状況を把握する。
- ◆学級・グループ等の指導体制については、各学部ともに年度当初に確認、どこで誰が何の活動をしているかを把握する。
- ◆点呼、伝達、報告
学級担任 → 学年主任 → 生活指導部（本部） → 副校長 → 校長
- ①学級主担任が児童・生徒の点呼を行い、全員集合を確認し、速やかに学年主任に報告する。
〈在籍者数、集合者数、欠席者数（氏名）〉学年主任が不在の場合は、副学年主任がこれに代わる。
- ②学年主任は、担任からの報告をまとめて生活指導部に報告する。
- ③副校長は3学部をまとめて校長に報告する。

(2) 避難所の設営

- ◆本校は災害時において施設の一部を、障害者等を対象とした福祉避難所として利用することについて羽村市と協定を締結している。本校児童・生徒対象の避難所のほか、必要に応じて所定のスペースを地域に開放し、羽村市職員と協力して運営に当たる。（福祉避難場所の管理運営は羽村市が行う。）
- ◆大規模災害時、東京都教育委員会の支援活動の一環として「災害時帰宅支援ステーション」を開設し、帰宅困難者の受け入れを行い、水、トイレ及び情報の提供を行う。

4 日常防災の取組について

(1) 防災教育

- ◆防災教育推進委員会の活用
 - ・防災に関する講演会の実施
 - ・実際に則した防災訓練の計画・実施への助言
 - ・安全マップの活用
- ◆安全指導日
 - ・登下校時の安全確認と災害時を想定した下校指導
- ◆各教科、領域との連携（例）
 - ・道徳・・・生命尊重、自助・共助
 - ・特別活動・・・学級活動、児童会、生徒会活動での取り組み
 - ・社会・・・小「地域社会における災害」 中「日本の地域的特色」 高「世界の地形・気候」等
 - ・体育・保健体育・・・小「けがの防止と手当」 中「傷害の防止」 高「応急手当」等

(2) 令和8年度 避難訓練等年間計画

4月28日（火）	避難訓練（地震）	7月30日（木）	特別非常配備訓練
5月29日（金）	不審者対応訓練	9月9日（水）	避難訓練（地震・火災）
5月14日（木）	避難訓練（地震）	10月21日（水）	避難訓練（地震）・地域関係機関等と連携した防災訓練
6月9日（火）	教職員参集訓練	11月11日（火）	避難訓練（地震）・総合防災訓練
6月19日（金）	避難訓練（火災）	12月18日（金）	避難訓練（地震・火災）
6月24日（水）	セーフティ教室	1月27日（水）	避難訓練（地震・火災）
7月3日（金）	避難訓練（Jアラート）	2月25日（木）	避難訓練（地震）
7月13日（月）	交通安全教室	3月11日（木）	避難訓練（火災）

5 児童・生徒の健康に関する緊急対応体制

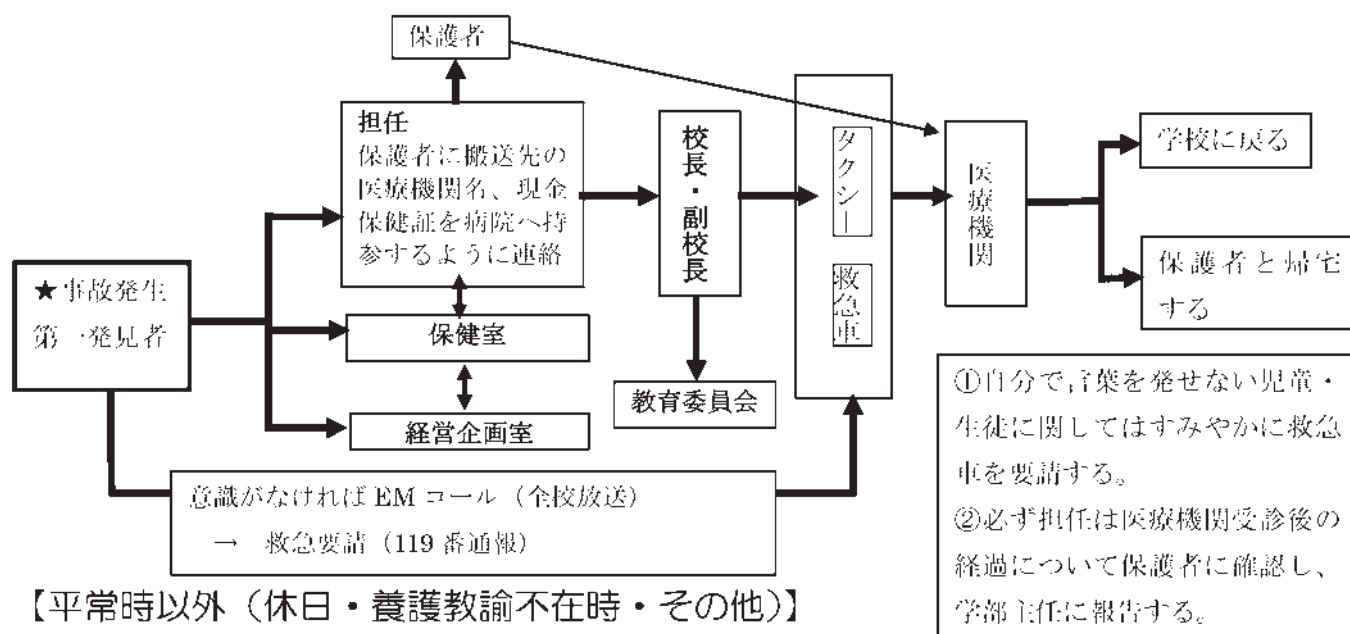
(1) 基本方針

- ①児童・生徒の安全確保、生命維持最優先とする。
- ②全教職員の共通理解のもと、管理職や養護教諭が不在の場合においても、冷静で的確な判断と指示を行う。
- ③適切な対処と迅速正確な連絡・通報を行う。

(2) 緊急時対応体制

- ①管理職に相談の上、すみやかに「119」通報を行う。
- ②いつ・どこで・誰が・何が起きたか・症状・現在の状況・連絡者名を伝える。

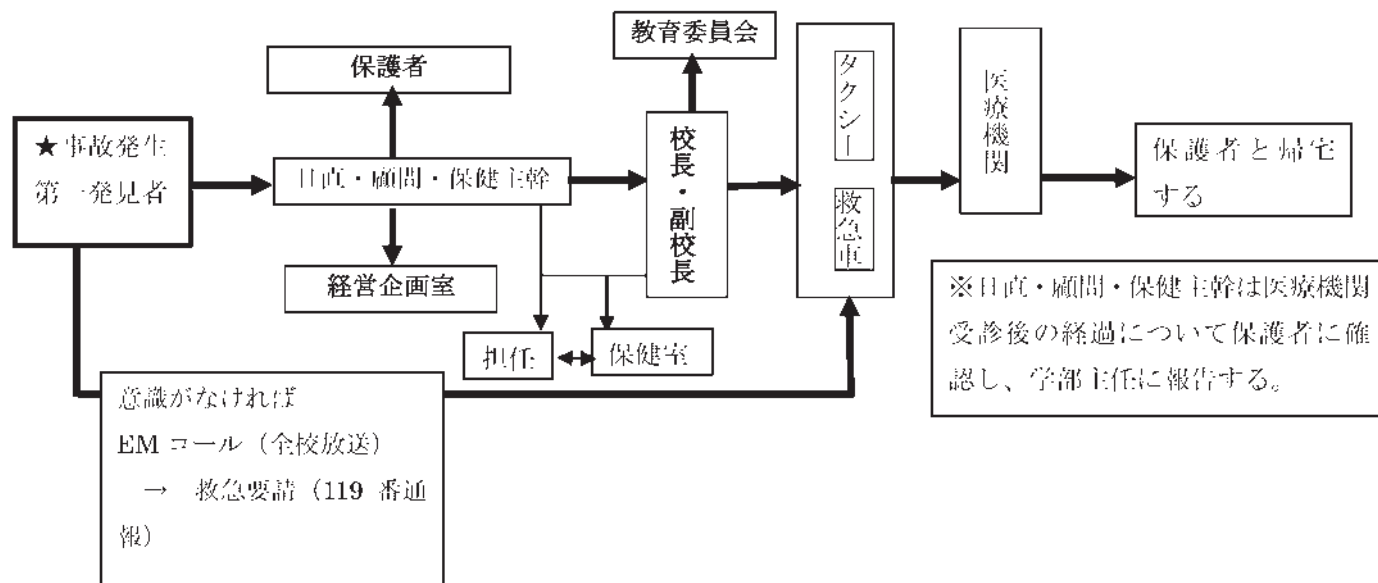
【平常時（授業中・休み時間・放課後）】



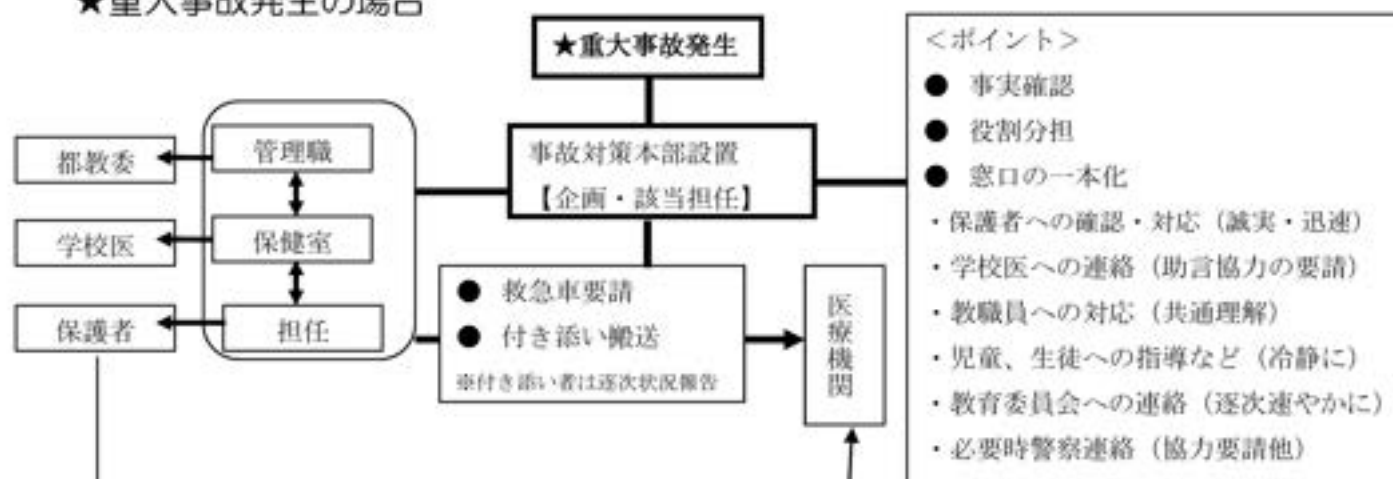
【平常時以外（休日・養護教諭不在時・その他）】

※ 日直・経営企画室がない場合は、顧問・第一発見者がその役割を担う。

※ 担任・養護教諭には、後程、必ず報告すること。

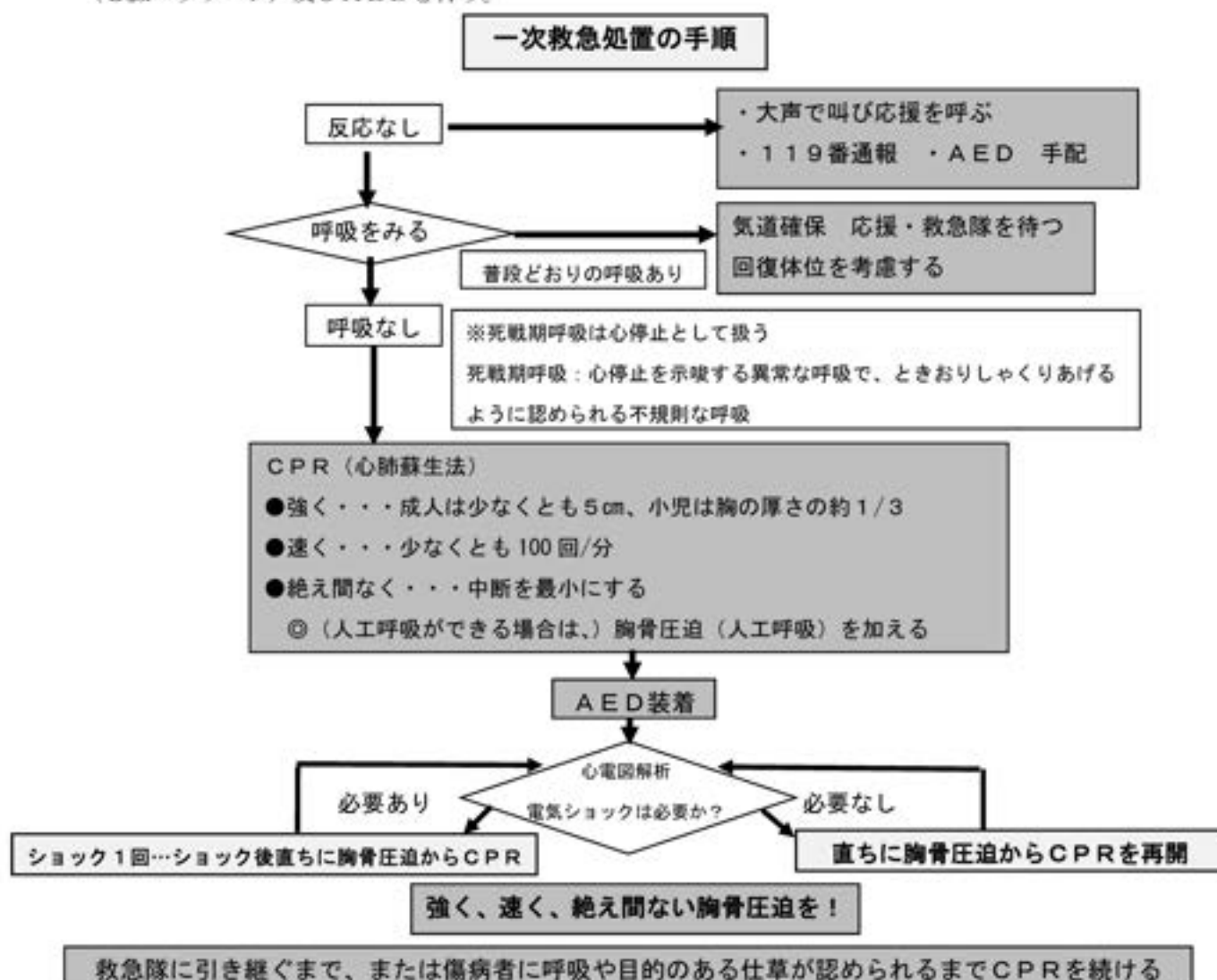


★重大事故発生の場合



(3) 救急処置

教職員は、教室に掲示してある「緊急時」を確認しながら、迅速に処置を開始する。心肺蘇生法（心臓マッサージ）及びAEDを行う。



6 児童・生徒の健康に関する平常時の体制

(1) 基本方針

- ①児童・生徒の健康状態を把握し、また、様々な場面を想定した校内研修を実施するなど、緊急時に適切な対策がとれるようにする。
- ②緊急時における教職員の役割分担、連絡系統を明確にし、校内組織体制の強化を図る。

(2) 校内組織体制

学校保健委員会（年2回）、アレルギー対応委員会（年2回）その他、必要な場合に臨時で開催し、対応を検討、決定、実施する。

(3) 日常的な処置

- ①日頃から、石けんでの手洗いやうがいを中心とする。

手洗いうがい の徹底	・給食の前 ・トイレ介助・オムツ交換を行った際 ・嘔吐処理を行った際 ・出血を伴う事故（鼻血やけが）の処置や生理時の介助を行なった際 ・発熱、下痢をしている児童・生徒の食事介助を行った際
---------------	---

- ②他人の血液（鼻血やケガ）、体液、便などの処置や介助時は、使い捨て手袋やコブロン等を使用し、直接に素手で触れない。
- ③血液、便、尿、嘔吐物などが直接、皮膚に付いた場合は、直ちに石けんと流水で洗い流す。衣服や持ち物についた場合は、感染の可能性があるため、洗い流さず、袋に密封し、家庭へ持ち帰らせる。
- ④歯ブラシ、コップ、タオル、ハンカチ、食器の個別化の徹底。（共有しない）
- ⑤嘔吐物・排泄物等の汚物処理の方法について
 - ア 排泄物や嘔吐物がついた便座や床は、ペーパータオルを使い、0.1%次亜塩素酸ナトリウムで拭く。保健室の処理用バケツを使用する。処理方法は、教室掲示を確認し、適切に処理する。
 - イ 給食時の食器は、保健室にて消毒後、他の食器とは別にし、その旨を伝えて返却する。
 - ウ 塩素系漂白剤とバケツを借りて消毒する。消毒後、他の食器とは別にし食堂へその旨を伝えて返却する。
 - エ 処理で出たゴミについては、耐水性のビニール袋に入れ、密閉し、指定の方法で廃棄する。

⑥出血、咬傷時の処置について

- ア 負傷を起さないよう予防に努める。
- イ 血液が手についた場合→石けんを使い流水で洗い流す。
- ウ 咬傷の場合
 - ・皮膚に傷がないか確認。[傷がある場合は応急処置をする。処置をする人は、ゴム手袋をする。]
 - ・出血をした部分を流水で洗う。
 - ・止血をし、血液が直接触れないように出血部位を保護する。
 - ・ゴミは耐水性のゴミ袋に入れて密閉し直ちに廃棄する。

⑦施設、環境の整備

- ア 水回りは清潔にして乾燥させるよう心がける。
- イ ドアノブ、教材、教具など児童・生徒が頻繁に触れる物は、定期的にアルコール噴霧や日光消毒をする。
- ウ カーペット、敷物を排泄物で汚した場合は、アルコール消毒又は塩素系漂白剤をかけ、10分くらい放置する。その後、水拭きをし、日干しにする。

(4) 日常的な処置

- ①担架の設置場所 プール、体育館2階入り口、運動場入り口、B棟3階トイレ前
- ②AED設置場所 玄関（経営企画室前廊下）、校長室前廊下（水泳指導実施期間中は、プール倉庫）
- ③アレルギー疾患のある児童・生徒の把握と対応決定
 - ・食物アレルギー対応委員会にて把握・対応決定後、全教職員で情報共有・対応を行う
- ④その他疾患のある児童・生徒の把握と情報の共有
 - ・「学校生活管理指導表」「主治医管理表」に関する情報の共有
- ⑤「緊急連絡カード」の準備と保管場所の共有
 - ・生活指導部が原本管理

7 緊急連絡先（関係機関連絡先）

学校医（新井クリニック）	042-557-0018	瑞穂町長岡 1-51-2
福生警察署	042-551-0110	福生市加美平 3 丁目 25 番地
福生消防署羽村出張所	042-554-0119	羽村市栄町 2-21-9
西多摩保健所	0428-22-6141	青梅市東青梅 1 丁目 167 番地 15
東京都家畜保健衛生所	03-5321-1111	西多摩郡日の出町平井 2759

Ⅸ 学校開放事業等

1 学校見学会・学校公開

特別支援教育の理解推進及び次年度入学生のために、「学校見学会・学校公開」を実施している。
また、学校見学や授業見学については、要望に応じ適宜行っている。

● 令和8年度学校見学会・学校公開

学校見学会（高等部） 令和8年6月25日（木） 9：30～11：30

学校見学会（小・中学部） 令和8年7月8日（水） 9：30～11：30

学校公開 令和8年10月22日（木） 9：30～11：30

2 都立学校公開講座

「都立学校開放事業」の一環として本校では「本人講座」「ボランティア養成講座」を実施する。

● 令和8年度実施予定

【本人講座 羽村ひろびろカレッジ】

①令和8年 6月6日（土）

②令和8年 7月4日（土）

③令和8年 9月12日（土）

④令和8年 10月24日（土）

⑤令和8年 10月31日（土）

⑥令和8年 12月19日（土）

⑦令和9年 1月9日（土）

【ボランティア養成講座】

①令和8年 6月6日（土）

②令和8年 7月4日（土）

③令和8年 9月12日（土）

④令和8年 10月24日（土）

⑤令和8年 10月31日（土）

校舎配置図



施設 の 規 模	
敷地面積	25,245.00 m ²
建物延面積	13,247.77 m ²
体育館面積	888.55 m ²

